

「調布市生涯学習振興プラン」に基づく
各種取組の新たな展開のために
～プラン策定から3年間の振り返り～
(報告)

平成29年6月

調布市生涯学習推進協議会

生涯学習とは

生涯学習とは、人々が自己の充実や啓発及び生活の向上のために、必要に応じて自分に適した手段・方法で、自発的意思に基づいて、生涯を通じて行う学習のことです。

これらの学習には、学校や社会教育施設などで行われるものだけでなく、職場・地域・家庭での学習、さらには文化活動、スポーツ・レクリエーション・趣味活動、ボランティア活動など生活のあらゆる場面で行われる学習が含まれます。

その実施形態も、地方自治体や大学などの講座等、民間のカルチャーセンターやスポーツクラブの教室等、企業内教育、自主的学習サークルなどがあり、さらには自己学習まで多様です。

このように、生涯学習の範囲は非常に幅の広いものですが、その根底に共通しているのは“自発的意思により主体的に行う活動である”という点です。

また、教育基本法第3条では、「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」と「生涯学習の理念」を定めています。

生涯学習は、「自己の人格を磨き、豊かな人生を送る」ことが目指しているように、いわば“個人を高める”活動であるということが出来ます。しかし一方で、“その学習の成果を適切に生かす”ことも求められており、学習の成果が地域に生かされる、あるいはお互いに学びあうことによってコミュニティの形成が促され、結果として地域全体が活性化する“地域を高める”活動としての側面も持っています。

目 次

はじめに	1
I 生涯学習振興プランについて.....	2
1 計画の基本理念と基本目標の相関図	3
2 施策の体系図	4
II 5つの基本目標に基づく各種取組の振り返り.....	5
1 基本目標1についての考察	5
(1) 所管課による実施状況と自己評価.....	6
(2) 振り返りと提案.....	11
ア 経過について	11
イ 今後の展開のための提案	12
2 基本目標2についての考察	13
(1) 所管課による実施状況と自己評価.....	14
(2) 振り返りと提案.....	20
ア 経過について	20
イ 今後の展開のための提案	21
3 基本目標3についての考察	22
(1) 所管課による実施状況と自己評価.....	23
(2) 振り返りと提案.....	28
ア 経過について	28
イ 今後の展開のための提案	28
4 基本目標4についての考察	29
(1) 所管課による実施状況と自己評価.....	30
(2) 振り返りと提案.....	36
ア 経過について	36
イ 今後の展開のための提案	36
5 基本目標5についての考察	38
(1) 所管課による実施状況と自己評価.....	39
(2) 振り返りと提案.....	41
ア 経過について	41
イ 今後の展開のための提案	42

おわりに	43
資料編	45
1 第12期調布市生涯学習推進協議会	45
(1) 会議開催日程及び内容一覧.....	45
(2) 委員名簿.....	47
2 調布市生涯学習推進協議会の答申・提言など.....	48
3 参考資料	50
(1) 調布市の生涯学習所管部署の組織変遷	
(2) 多摩26市の生涯学習・社会教育所管課一覧	
(3) 行政との連携事業に関する調査	
(4) 大学との事業に関する調査報告書	

はじめに

調布市生涯学習推進協議会（以下、「協議会」と表記します。）は、平成２年度に第１期が発足して以来、これまでに１１期にわたって、その時々に応じた市民の生涯学習に関する様々な課題について審議し、その内容を答申・提言などの形でまとめ、調布市に提出してきました。こうした協議会の意見などは、これまでの調布市の生涯学習推進施策に取り入れられ、反映されてきたところです。（各期の協議会内容については、資料編 ２ 調布市生涯学習推進協議会の答申・提言など（４８・４９ページ）を参照。）

第１１期の協議会では、「調布市生涯学習振興プラン」（平成２５年３月策定）（以下、「プラン」と表記します。）の策定に携わり、さらにプランをどう具体的に実施するかということをもとめた『調布市生涯学習振興プラン』推進のための方策について（提言）」を発行しました。

そして、現在の第１２期の協議会は、平成２７年７月１日から２年間の任期として、市長から委嘱を受け発足し、プラン及び提言の内容を行政がどれくらい実施したのかその進捗状況について、事業を中心に検証しながら確認することとしました。

また、大学との連携については、近隣２６市への調査を行いその実態を把握し、調布市の大学連携事業の推進にあたり検討を行いました。

さらに、調布市の生涯学習振興の流れとして組織改正がいつどのように行われてきたのか、他自治体の組織についても調査を行いました。時代と共に調布市の生涯学習振興が様々な変遷を経てきていることが分かり、今後の参考になりました。（資料編 ３ 参考資料（１）及び（２）（５０ページ以降）を参照。）

以下、今期の協議会は、プランに基づく各種取組の新たな展開に向けて、プラン策定から３年間の振り返り、協議内容を報告書にまとめました。プランの５つの基本目標ごとに、所管課による実施状況と自己評価を示し、振り返りと提案（今後の展開のための提案）を行いました。ご一読いただけましたら幸いです。



I 生涯学習振興プランについて

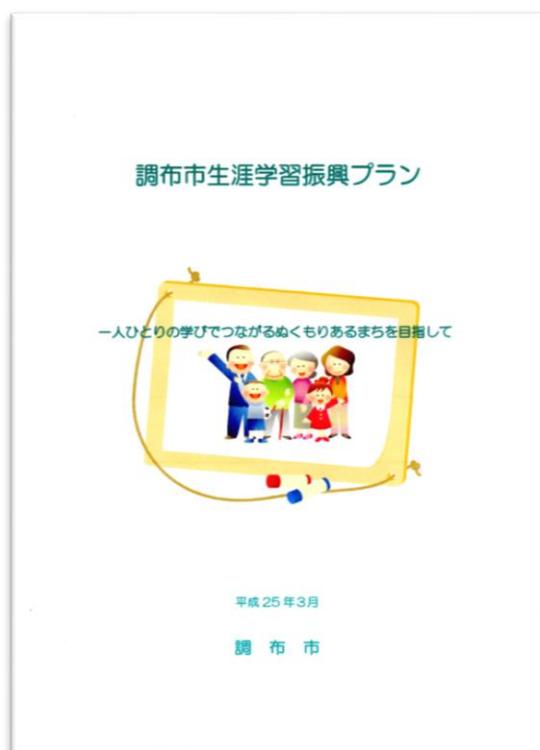
調布市生涯学習振興プランは、「調布市基本構想（平成25年度～平成34年度）」のまちの将来像である「みんなが笑顔でつながる・ぬくもりと輝きのまち調布」の実現に向け市民の生涯を通じた学習活動を支援することは重要な取組の一つであることから、生涯学習分野の個別計画として、平成25年3月に策定されました。その計画期間は、基本構想と同じ平成34年度までとなっています。

学習活動には、それ自体が自己実現につながるというだけでなく、活動を通じた仲間との交流、それぞれの知識や経験、技能を生かすことによって得られるより深い充実感など、生きがいや豊かさを実感できる機会が様々な形で存在しています。

さらに調布市全体の活力を高めるためには、市民全体の学習活動やその成果をまちづくりに生かしていくことが不可欠です。

プランでは、「一人ひとりの学びでつながるぬくもりあるまちを目指して」を基本理念に定め、それぞれの興味・関心や生活スタイルに応じた学習ができるだけでなく、その成果をまちづくりに生かすことができる環境づくりを目指しています。

また、学習の機会や対象は市政の様々な分野に及ぶため、市民の生涯学習支援には部署を超えた全庁的な取組が必要となり、プランに基づく全庁的かつ体系的な市民の学習支援・振興を通じて、生涯学習社会の実現を目指しています。



(調布市生涯学習振興プラン A4 102頁)

1 計画の基本理念と基本目標の相関図

調布市らしい生涯学習支援・振興のために、3つの視点を基本とします。

基本理念

一人ひとりの学びでつながるぬくもりあるまちを目指して

学びを通じた
自己実現

団体の自主的な
活動の促進

学びの成果を
まちづくりへ

基本目標

入口

学習の入り口

【基本目標1】
学びへの興味関心
が高まり、だれも
が学びやすい環境
になる

ステップアップ

個人の学習活動

【基本目標2】
多様な学びの機会
があり、一人ひと
りの興味に応じた
学習ができる

団体の学習活動

【基本目標3】
団体での学習活動
が活発となり、学
びを継続できる

活用

学習成果の活用

【基本目標4】
学んだ成果を仲間
づくりや地域での
活動に生かすこと
ができる

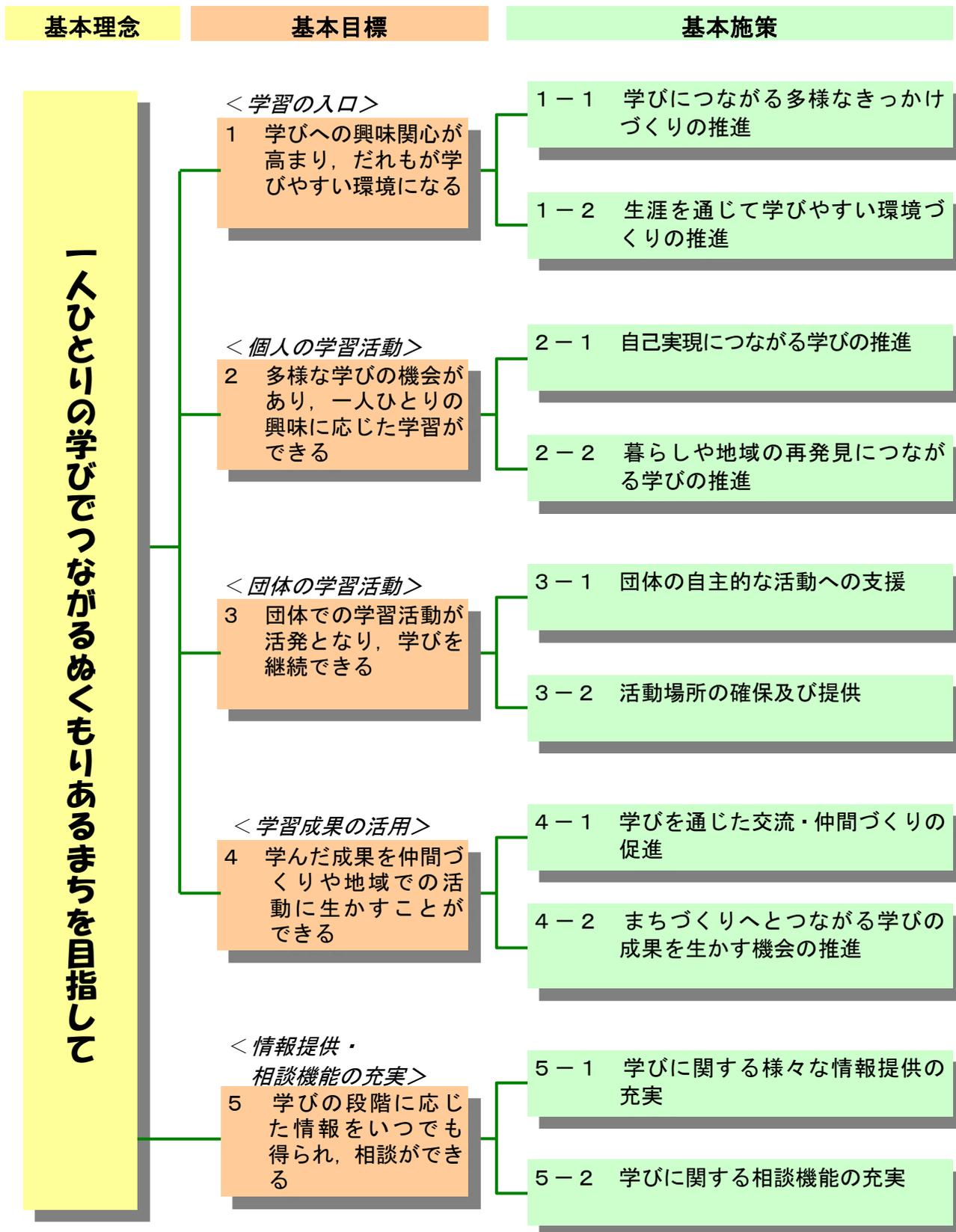
サポート

情報提供・相談機能の充実

【基本目標5】
学びの段階に応じた情報をいつでも得られ、相談ができる

2 施策の体系図

基本理念を実現するため、様々な生涯学習の段階に対応した5つの基本目標と基本施策を設定しました。



Ⅱ 5つの基本目標に基づく各種取組の振り返り

1 基本目標1についての考察

基本目標1 学びへの興味関心が高まり、だれもが学びやすい環境になる <学習の入口>

【基本施策】

1-1 学びにつながる多様なきっかけづくりの推進

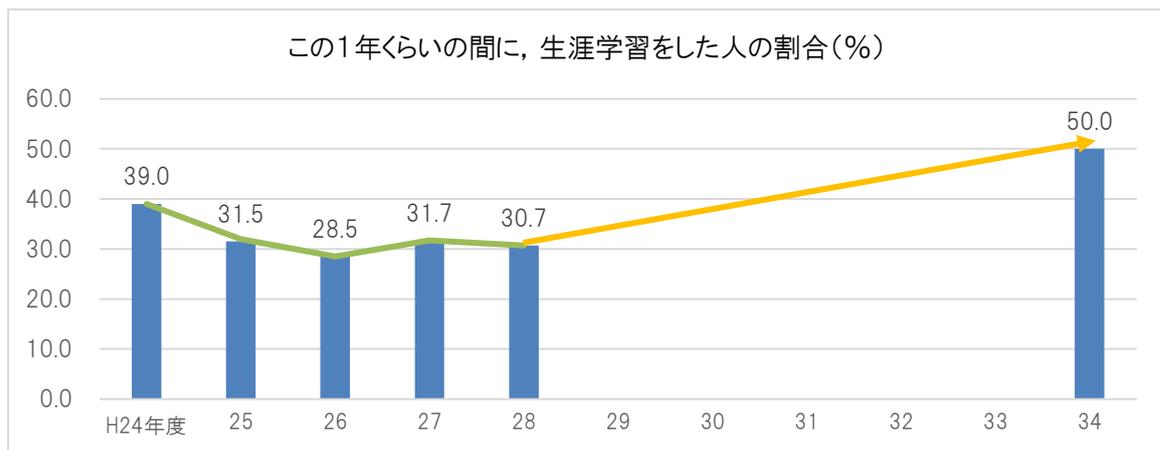
市民一人ひとりの学習に関する興味関心を高め、学習活動の実践へとつながるよう、生涯学習の普及啓発や、きっかけづくりとなるイベントの実施など多様なきっかけづくりに努めます。

1-2 生涯を通じて学びやすい環境づくりの推進

子ども、青少年、成人、高齢者、障害者、外国籍市民など、だれもが、いつでも、どこでも、学習できる環境づくりを推進します。

■生涯学習振興のための指標

指標	プラン策定時	現状値	目標値
この1年くらいの間に、生涯学習をした人の割合（市民意識調査から）	39.0% （平成24年度）	30.7% （平成28年度）	50% （平成34年度）



指標の動向は、プラン策定時は39.0%であったが、平成25年度以降は、ほぼ横ばいとなっている。

(1) 所管課による実施状況と自己評価

■主な取組と方針(プラン策定時の各課の生涯学習に関する取組と方針)

※方針欄の「推進」とは、前へ推し進めて行われることの意、「拡充」とは、広げて充実させて実施することの意。

※自己評価とは、所管課が主な取組の方針に対する3年間の実施状況を4段階で自ら評価したもの。

【基本施策】1-1 学びにつながる多様なきっかけづくりの推進

主な取組	概要	方針	所管課
シニア世代の学習活動及びまちづくりへの参加	生涯学習・市民活動団体と協働して地域の多様な活動の紹介や生涯学習サークル体験，生涯学習体験発表会，地域デビュー歓迎会などを実施し，学習を始めるきっかけづくりとする。	推進	生涯学習交流推進課
<p>実施状況 ・生涯学習体験発表会 参加者 H25:約 300 人 H26:約 250 人 H27:約 250 人</p> <p>・地域デビュー歓迎会 参加者 H25: 59 人 H26: 58 人 H27: 59 人</p> <p>・地域デビュー講座 参加者 H25: 48 人 H26: 138 人 H27: 115 人</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
生涯学習出前講座の実施	市民からの要望に応じて市職員等が出向き，事業の案内や専門知識を生かした講座を実施する。	拡充	生涯学習交流推進課
<p>実施状況 ・出前講座 実施件数・受講者 H25:48 件/1,196 人 H26:78 件/1,832 人 H27:68 件/1,550 人</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p> <p>⇒自己評価の理由：市民ニーズや社会情勢に応じて新しいメニューの開発を行い，より利用しやすい内容となるよう工夫している。土・日や時間外の開催希望についても所管課と調整し，出来る限り実施できるよう努めているため。</p>			
スポーツ推進委員による生涯スポーツの振興	地域スポーツを振興するためスポーツ推進委員を主に小学校等へ派遣し，指導及び助言を行う。	推進	スポーツ振興課
<p>実施状況 ・ニュースポーツ出前講座 実施回数 H25:12 回 H26:12 回 H27:11 回</p> <p>・障害者グループ等でのスポーツ事業への協力 実施回数 H25:記録なし H26:10 回 H27: 5 回</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
環境情報の提供と環境学習事業の推進	環境フェアや多摩川自然情報館でのイベント等を通じて，地球環境の保全意識を啓発・醸成していく。	推進	環境政策課

<p>実施状況 ・環境フェア 参加者 H25:3,376人 H26:雨天中止 H27:3,928人 ・多摩川自然情報館夏まつり・秋まつり 参加者 H25:1,429人 H26:1,551人 H27:1,871人 自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
ごみ処理施設等見学の 実施・あっせん	ごみ処理施設等の見学を行うことで、ごみ処理の流れ、分別の大切さや方法を理解し、ごみの減量や分別・適正排出の徹底を啓発する。	推進	ごみ対策課
<p>実施状況 ・施設見学会 参加者 H25:1,704人 H26:1,296人 H27:1,163人 ・ごみ減量運動懇談会・説明会 参加者 H25:799人 H26:711人 H27:756人 ※見学会の他に懇談会や説明会を開催し、ごみの適正排出に努めている。 自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
子どもの読書活動の 推進	「第2次調布市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの発達段階に応じた資料の収集・提供、おはなし会や小学生読書会・図書館ガイダンスなどの実施等に取り組む。	推進	図書館
<p>実施状況 ・おはなし会（幼児～小学生） 参加者 H25:4,644人 H26:4,401人 H27:3,447人 ・小学生読書会（小4～6） 参加者 H25:81人 H26:110人 H27:142人 ・図書館ガイダンス（小3） 実施回数 H25:53回 H26:58回 H27:54回 自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
子どもはくぶつかんの 実施	月見だんご作りやしめ飾り作りなど、子どもたちが伝統的な食文化や年中行事について学べる事業を実施する。	推進	郷土博物館
<p>実施状況 ・子どもはくぶつかん 参加者 H25:129人 H26:118人 H27:56人 自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			

【基本施策】 1-2 生涯を通じて学びやすい環境づくりの推進

主な取組	概要	方針	所管課
文化コミュニティ事業の推進	ニーズに合わせ、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団がたづくり指定管理事業（音楽、演劇、映画、芸術体験、ちょうふ市民カレッジ、ちょうふ市内・近隣大学等公開講座など）を行う。	推進	文化振興課
<p>実施状況 ・市民カレッジ講座数・参加者 H25:46回/990人 H26:44回/975人 H27:44回/1,087人 ・市内・近隣大学公開講座 講座数・参加者 H25:24回/1,039人 H26:24回/1,351人 H27:24回/1,222人 自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			

外国籍市民日本語教室	国際化事業の一環として、外国籍市民に日本語会話の基礎を習得するための支援を行う。【調布市国際交流協会】	推進	生涯学習交流推進課⇒文化振興課 (H27 事務移管による)
<p>実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本語教室 参加者 H25: 101 組 H26: 129 組 H27: 319 組 調布市立学校日本語指導教室 参加者 H25: 38 人 H26: 35 人 H27: 40 人 子育て中の親のための日本語教室 参加者 H25: 10 人 H26: 13 人 H27: 17 人 <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
子どもの発達に関する相談・普及啓発活動の推進	子どもの発達に心配のある保護者や子ども施設からの相談に応じるとともに、保護者勉強会や市民対象講演会の実施等啓発活動・保護者支援を行う。	推進	子ども発達センター
<p>実施状況 ・保護者支援（講演会等）参加者 H25: 209 人 H26: 261 人 H27: 249 人</p> <p>自己評価 <input type="checkbox"/>できている <input checked="" type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
児童館児童健全育成事業の推進	日常の遊び場として児童館を開放するとともに、ウルトラキャンプ、児童青少年フェスティバル、児童館交流大会等の全館事業及び各館での事業を実施し、児童の健全育成を図る。	推進	児童青少年課
<p>実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童館一般利用 利用者 H25: 113, 178 人 H26: 115, 857 人 H27: 115, 808 人 ウルトラキャンプ 参加者 H25: 71 人 H26: 58 人 H27: 59 人 児童青少年フェスティバル 参加者 H25: 5, 123 人 H26: 4, 067 人 H27: 4, 742 人 児童館交歓フェア 参加者 H25: 1, 508 人 H26: 1, 362 人 H27: 1, 398 人 児童館交流大会 <ul style="list-style-type: none"> ドッジビー大会 参加者 H25: 319 人 H26: 269 人 H27: 289 人 オセロ大会 参加者 H25: 58 人 H26: 63 人 H27: 70 人 サッカー大会 参加者 H25: 446 人 H26: 469 人 H27: 450 人 各児童館での事業 参加者 H25: 45, 004 人 H26: 50, 834 人 H27: 45, 987 人 <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
高齢者健康づくり事業の推進	高齢者が、認知症や寝たきりにならずに、元気で生きがいを持って自立した生活を送ることができるよう、いきいき麻雀、ティーポットサロン、飲食店活用高齢者ミニデイ等の健康づくり事業を実施する団体を支援する。	推進	高齢者支援室高齢福祉担当

<p>実施状況 ・いきいき麻雀 参加者 H25:905人 H26:875人 H27:886人</p> <p>・ティーポットサロン 参加者 H25:488人 H26:415人 H27:469人</p> <p>・高齢者ミニデイ 参加者 H25:593人 H26:281人 H27:545人</p> <p>※いきいき麻雀, ティーポットサロンは, 商業施設等を活用した事業。</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
障害者地域活動支援センター事業の推進	障害者を対象に料理, マナー, 健康, 金銭管理の講習会等, 様々な学習の機会を提供するとともに, 地域住民との交流活動, 障害に対する理解促進のための普及啓発を図る。	推進	障害福祉課
<p>実施状況 ・地域活動支援センター事業 利用者数 H25:21,586人 H26:21,469人 H27:21,061人</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
中学生の職場体験学習の推進	キャリア教育の推進を図るため, 市内事業所等での職場就労体験を市立中学校8校で実施する。	推進	指導室
<p>実施状況 ・中学生職場体験 参加者 H25:1,292人 H26:1,358人 H27:1,296人</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
子どもの読書活動の推進	子ども読書事業を実施している関係機関と連携して, 子どもの読書環境の整備を図り, 推進する。	推進	図書館
<p>実施状況 ・ブックスタートパック 配布部数 H25:1,770部 H26:1,700部 H27:1,900部</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
成人利用者の読書活動の推進	現代的テーマや話題の図書を取上げた講演会・著者を囲む会・読書会等の読書啓発事業を実施する。	推進	図書館
<p>実施状況 ・講演会・樟まつり 参加者 H25:2,507人 H26:2,852人 H27:2,949人</p> <p>・読書会等 参加者 H25:637人 H26:582人 H27:545人</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
図書館のハンディキャップサービス	公平な図書館サービスをあらゆる市民が受けられるようにすることを目的に, 資料の音訳・点訳, 宅配サービス, 障害のある子どもたちに向けた布の絵本やマルチメディアデージー (DAISY) の貸出等を行う。併せて, その業務に携わる協力者 (市民) の養成を行う。	推進	図書館

実施状況	・録音図書作成点数	H25:215 タイトル	H26:214 タイトル	H27:242 タイトル
	・点訳サービス枚数	H25:3,105 枚	H26:3,086 枚	H27:3,068 枚
	・マルチメディア DAISY 図書貸出数	H25:73 タイトル	H26:29 タイトル	H27:15 タイトル
	・布の絵本貸出数	H25:290 冊	H26:307 冊	H27:279 冊
	・宅配サービス貸出点数	H25:8,380 点	H26:9,224 点	H27:9,895 点
	・協力者の講座参加者数	H25:64 人	H26:82 人	H27:78 人
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらかといえぱできている <input type="checkbox"/> どちらかといえぱできていない <input type="checkbox"/> できていない			

■「『調布市生涯学習振興プラン』推進のための方策について(提言)」(平成26年9月発行)に関する提言項目・内容

※第11期生涯学習推進協議会がプランを推進するための具体的な内容を提出した。

提言項目	内容
開催時間の工夫	各種団体の事業企画にあたっては、多くの市民が参加できよう開催時間の工夫が必要
実施状況	<p>○地域デビュー事業では、シニア世代が主な対象者であることから、講座は平日に実施、昼食付とするなど工夫している。また、3月に行っている歓迎会としての催しは、年によって実施曜日を変え(土・日曜日)実施している。(生涯学習交流推進課)</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえぱできている <input type="checkbox"/>どちらかといえぱできていない <input type="checkbox"/>できていない</p> <p>○市民カレッジ、近隣大学等公開講座は、社会人向けに配慮し時間等を設定している。(文化・コミュニティ振興財団)</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえぱできている <input type="checkbox"/>どちらかといえぱできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>
活動展示の推進	<p>参加希望者にもサークルにも負担が少ない、普段の活動時間に、普段のメンバーで、普段の活動を見せる場面をつくる</p> <p>みんなの広場のテーブル配置・照明の工夫・活動内容の掲示などによるメンバー交流の空間づくりを</p> <p>みんなの広場運営方法の工夫を(〇〇の日、活動内容が類似するサークルを一堂に会するフェスティバル的運営など)</p>
実施状況	<p>○サークル体験は、サークルの普段の活動時間に、普段のメンバーで、普段の活動を見せる場面に、市報等で募集した参加希望者が体験を行っている。</p> <p>○みんなの広場での壁面を使った資料掲示のレイアウトの変更、マガジンラックなどを配置変更することで、貸出テーブルを増設し、利便性の向上を図っている。</p> <p>○みんなの広場において行っている相談サロンと銘打っての事業では、新たに地域参加を希望する人への相</p>

談・情報提供と、複数のサークル活動に触れてもらう場を同時開催することで、サークルにとっての発表の場、会員確保の場となるよう、サークル活動の活性化につながる機会を設けている。また、平成26年度に実施した連携大学との10周年を記念した学生による企画では、みんなの広場を使用して、記念アート作品の制作を行うなど、市民との交流を深める活動も行った。

(いずれも生涯学習交流推進課)

自己評価 できている どちらかといえばできている どちらかといえばできていない できていない

たづくりエントランスホールなどの有効活用

連携大学でのサイエンス・カフェ活動としての取組を

実施状況

○サイエンス・カフェ活動に関する連携大学への調査を実施。電気通信大学とは、平成29年度のサイエンス・カフェの実現に向けて具体的な打ち合わせを行っている。たづくりエントランスホールなどの有効活用については、継続して検討する。(生涯学習交流推進課)

自己評価 できている どちらかといえばできている どちらかといえばできていない できていない

○気軽に音楽に親しむ機会として、毎月1回お昼のひと時にたづくりエントランスホールで小さな小さな音楽会を開催している。音大生、プロの演奏家や市内の音楽愛好家など出演者も多彩で、テーマに合わせたライトアップと共に、開催時間は夕方(16時30分～17時20分)に実施するなどの月もあり工夫を凝らし実施している。

○たづくりエントランスホールは、リオオリンピック開催時のパブリックビューイング、FC東京の選手訪問、期間限定各種事業のPRなど様々な形で市民へアピール、情報発信する場として有効利用している。

(いずれも文化・コミュニティ振興財団)

自己評価 できている どちらかといえばできている どちらかといえばできていない できていない

(2) 振り返りと提案

ア 経過について

(ア) うまく進展している点

- ① 多彩なジャンル、プログラムを揃え多くの市民の利用実績のある事業として、文化・コミュニティ振興財団による市民カレッジ・大学公開講座、また、たづくりエントランスホールでの小さな小さな音楽会等の実施を評価します。
- ② 「生涯学習をしたい」と思った人が気軽に参加できる機会の提供事業として、「みんなの広場」(相談サロン、サークル活動等の活動展示)というオープンな施策を評価します。
- ③ 市民団体からの要望に応じて市職員等が出向く出前講座のメニュー見直しが毎年実施されており評価します。
- ④ 7つの大学と相互友好協力協定を締結し、それぞれの大学の特色を生かした学びの場や体験の場が増えていることを評価します。例えば、中学生の大学一日体験入学事業などで

す。

(イ) 改良すべき点

- ① 生涯学習意欲の向上や市の広報のため、市報等での生涯学習についての希望把握や、若手職員によるアイデア募集等の取組を期待します。
- ② 生涯学習交流推進課が他部署の取組についても積極的に情報を得るよう期待します。
- ③ 出前講座の一層の拡充を期待します。例えば、地域にあるふれあいの家などの公共施設に限らずどの場所でも実施できるような講座開催などです。

イ 今後の展開のための提案

- ① 生涯学習振興のための指標値がプラン策定時を若干下回っており、指標値向上のため生涯学習の環境づくりを一層推進することが望ましい。
- ② 基本目標1は、他の基本目標の根幹である「学びやすい環境づくり」になっているが、主な取組の17のうち14は他部署に委ねている状況です。市民の生涯学習の関心度は高いにもかかわらず学習グループへの参加人数が増えていないという課題解決のためには、各事業の取組実施にあたり、生涯学習交流推進課が参加促進を図るため他部署とのコミュニケーションを密にし、先導的にコーディネーションを行えることが望ましい。
- ③ 時間と地域に縛られない学びのスタイル一つとして、You-Tubeなどを利用した成人学級や市民文化教室の上映などのシステム構築をすることで、子育て世代・働き世代の方々に対しての意識改革のための啓発活動が望ましい。
- ④ 新規企画の立案が望ましい。例えば、相互友好協力協定締結大学などの関係諸機関と連携したサイエンス・カフェ※やリベラル・アーツ・サロン※、哲学カフェ等です。

※サイエンス・カフェとは、科学技術の分野で従来から行われている講演会、シンポジウムとは異なり、科学の専門家と一般の人々が、カフェなどの比較的小規模な場所でコーヒーを飲みながら、科学について気軽に語り合う場をつくろうという試みです。

※リベラル・アーツ・サロンとは、語源は古代ギリシア語での「人間を自由にするための学問」にありますが、現代では大学における幅広い分野の教養を身につけるための教育という意味を指すことが一般的です。

2 基本目標2についての考察

基本目標2 多様な学びの機会があり、一人ひとりの興味に応じた学習ができる ＜個人の学習活動＞

【基本施策】

2-1 自己実現につながる学びの推進

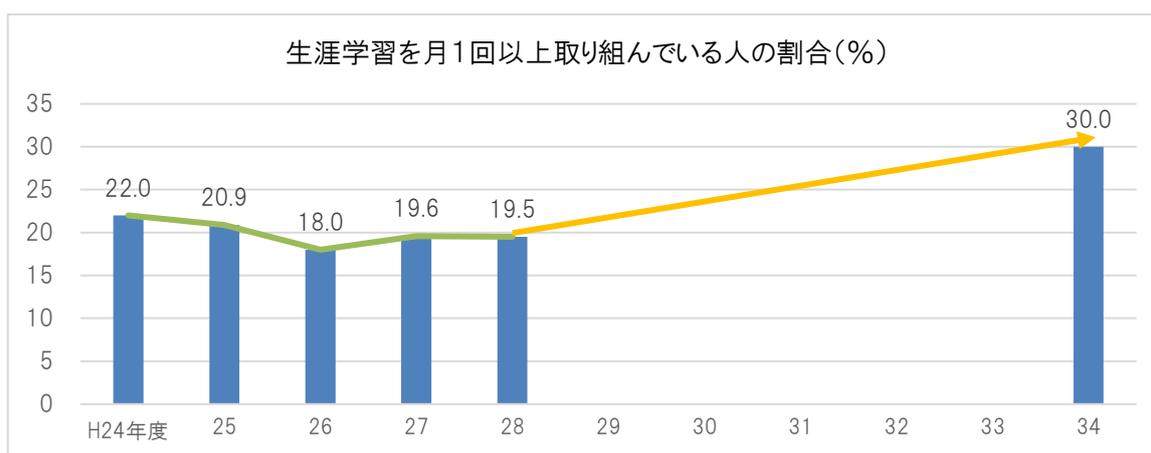
多様化する市民の学習ニーズに対応するため、市民の身近な学習の場として活用されている公民館、図書館、博物館等における市民の学習機会の推進を図るとともに、文化・芸術や健康・スポーツ、職能教育などにつながる学習機会の充実に努めます。

2-2 暮らしや地域の再発見につながる学びの推進

生活に必要な知識や技能を修得できる多様な学習機会、平和や人権の尊重、男女共同参画の学習機会の提供とともに、学習活動をまちづくりへと発展していくことができるような地域の個性を生かした学習機会の展開に努めます。

■生涯学習振興のための指標

指標	プラン策定時	現状値	目標値
生涯学習を月1回以上取り組んでいる人の割合（市民意識調査から）	22.0% （平成24年度）	19.5% （平成28年度）	30% （平成34年度）



指標の動向は、プラン策定時は22.0%であり、それ以降も大きな変化がない。

(1) 所管課による実施状況と自己評価

■ 主な取組と方針(プラン策定時の各課の生涯学習に関する取組と方針)

※方針欄の「推進」とは、前へ推し進めて行われることの意、「拡充」とは、広げて充実させて実施することの意。

※自己評価とは、所管課が主な取組の方針に対する3年間の実施状況を4段階で自ら評価したもの。

【基本施策】2-1 自己実現につながる学びの推進

主な取組	概要	方針	所管課
芸術文化振興事業	公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団がグリーンホール指定管理事業(音楽, 演劇, 映画, 芸術体験など)を行う。	推進	文化振興課
<p>実施状況 ・フレッシュ名曲コンサート 参加者 H25:758人 H26:904人 H27:1,087人</p> <p>・調布シネサロン 参加者 H25:16回/5,871人 H26:12回/3,012人 H27:16回/5,005人</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
文化コミュニティ事業の推進	ニーズに合わせ, 公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団がたづくり指定管理事業(音楽, 演劇, 映画, 芸術体験, ちょうふ市民カレッジ, ちょうふ市内・近隣大学等公開講座など)を行う。	推進	文化振興課
<p>実施状況 ・小さな小さな音楽会(年12回) 参加者 H25:1,703人 H26:1,730人 H27:2,000人</p> <p>・クリエイティブリユースでアート! 来場者 H25:1,280人 H26:1,843人 H27:3,098人</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
せんがわ劇場芸術文化振興事業の推進	せんがわ劇場において, 演劇や音楽等の多様な観賞事業, ワークショップをはじめとした参加型の芸術文化振興事業を行う。	推進	文化振興課(せんがわ劇場)
<p>実施状況 ・指定事業(劇場) 参加者 H25:10,395人 H26:9,453人 H27:9,229人</p> <p>・指定事業(劇場外) 参加者 H25:2,047人 H26:934人 H27:1,723人</p> <p>・地域連携事業(4件) 参加者 H25:894人 H26:1,867人 H27:1,799人</p> <p>・裾野拡大事業(せんがわアター, JAZZART せんがわ, サンデーマチコンサート, アウトリチ等) 実施</p> <p>※他にも次世代を担う子どもたち育成事業, 次世代を担う舞台芸術活動者育成事業を実施</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
創業者への支援	創業を志す方や経営課題を解消したい方をサポートするため, 創業経営相談や創業経営支援セミナーや講演会を開催する。	推進	産業振興課

<p>実施状況 ・創業支援セミナー・講演会 参加者 H25:200人 H26:229人 H27:262人 ・創業等相談 参加者 H25:339人 H26:216人 H27:229人</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
雇用・就労に向けた支援	事業者の雇用と求職者の就労を支援するために、就職面接会や各種セミナーを開催。関係機関が実施する職業訓練などの情報提供を行う。	拡充	産業振興課
<p>実施状況 ・テーマ別個別相談 参加者 H25:122人 H26:125人 H27:90人 ・融資個別相談 参加者 H25:13人 H26:8人 H27:6人 ・金融機関による相談 参加者 H25:109人 H26:94人 H27:92人 ・よろず経営相談 参加者 H25:未実施 H26:18人 H27:38人</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p> <p>⇒自己評価の理由：経営アドバイザー9人を中心として相談業務に努め、特定創業支援機関（商工会，多摩信用金庫，日本政策金融公庫）との連携もできているため。</p>			
リフレッシュ健康体操事業の推進⇒「リフレッシュ体操スクール」に名称変更	日頃、運動する機会が少ない成年以上の市民を対象に運動するきっかけづくりとして、民間のスポーツインストラクター指導の下、年代や体力に応じた健康体操教室を行う。【(公社)調布市体育協会】※平成26年度から運営	推進	スポーツ振興課
<p>実施状況 ・リフレッシュ体操スクール 開設コース・延べ参加者 H25:34コース/21,751人 H26:66コース/23,565人 H27:84コース/32,046人 ※平成26年度から乳児・幼児が親子で参加できるコースなどを新設。</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
スポーツ推進事業の実施	スポーツ大会及び教室の企画・運営，スポーツ指導員の養成・登録・派遣，スポーツ団体の育成，スポーツ大会への選手及び役員派遣等を行う。また，教室のプログラムには，健康増進，ジュニアスポーツ，スキルアップ，スポーツ体験・観戦，障害者等がある。【(公社)調布市体育協会】	推進	スポーツ振興課
<p>実施状況 ・スポーツ体験・観戦 参加者 H25:256人 H26:242人 H27:63人 ・選手派遣 参加者 H25:466人 H26:704人 H27:637人 ・総合体育館イベントプログラム 参加者 H25:17,033人 H26:13,399人 H27:20,091人</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			

スポーツイベントの実施	市民体育祭や市民スポーツまつり，市民駅伝競走大会を実施し，それぞれの年齢や体力などに応じ，より多くの市民が生涯を通じてスポーツに親しむことができるよう，子どもから高齢者まで，各世代のニーズに合わせたスポーツ参加機会の充実を図る。【(公社)調布市体育協会】	推進	スポーツ振興課
実施状況 ・市民スポーツまつり 参加者 H25:11,700人 H26:中止 H27:14,000人 ・市民駅伝競走大会 チーム数・参加者 H25:331チーム/1,655人 H26:370チーム/1,850人 H27:418チーム/2,090人 ・F C東京サッカー関連事業 日数・参加者 H25:11日/861人 H26:11日/770人 H27:11日/889人 ・2014W杯パブリックビューイング 回数・来場者数 H26:3回/11,700人 自己評価 <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/> できていない			
保健センターと健康活動ひろばを活用した健康増進事業の推進	健康に関する知識の普及と参加者が体験学習を通して自ら健康づくりに向けた行動ができるようになることを促すことを目的に，「今から始める健康づくり教室（成人編・親子編）」，「あなたの骨の健康度チェック」を実施する。	推進	健康推進課
実施状況 ・今から始める健康づくり教室 参加者 H25:90人 H26:142人 H27:123人 ・骨粗しょう症予防教室 参加者 H25:261人 H26:204人 H27:134人 ※骨粗しょう症予防教室は，平成27年度から1日制教室となる。 自己評価 <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/> できていない			
多様な公民館事業の推進	地域の抱える課題や地域の特性を題材にした事業を展開し，地域に密着した公民館活動を繰り広げ，地域活性化を図る。	推進	公民館
実施状況 ・講演会 参加者 H25:140人 H26:201人 H27:239人 ・市民講座 参加者 H25:1,628人 H26:1,682人 H27:1,295人 ・3館合同事業 参加者 H25:82人 H26:325人 H27:996人 ※いずれも公民館3館の合計数 ※他にも市民文化教室，成人学級，高齢者学級，家庭教育講座，平和フェスティバル等を実施 自己評価 <input type="checkbox"/> できている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえばできている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/> できていない			
図書館資料の提供	中央図書館と10の分館による市内全域への資料提供サービスを実施する。	推進	図書館
実施状況 ・図書館本貸出冊数（11館） H25:2,753,836冊 H26:2,689,714冊 H27:2,662,302冊 自己評価 <input type="checkbox"/> できている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえばできている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/> できていない			

【基本施策】 2-2 暮らしや地域の再発見につながる学びの推進

主な取組	概要	方針	所管課
防犯意識の啓発	専門家による生活安全講演会，警察署の協力による防犯・薬物乱用防止教室，教育関係機関職員に対する不審者侵入対策訓練等を実施し，防犯意識を啓発する。	推進	総合防災安全課
<p>実施状況 ・防犯教室 参加者 H25:347人 H26:319人 H27:100人</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
交通安全意識の啓発	子ども交通教室，交通安全市民のつどい，高齢者交通安全指導員講習会，スタントマンを活用した自転車交通安全教室等を実施し，交通安全意識を啓発する。	推進	交通対策課
<p>実施状況 ・子ども交通教室 利用者数 H25:20,119人 H26:19,434人 H27:22,984人</p> <p>・交通安全のつどい 参加者 H25:1,300人 H26:1,300人 H27:1,100人</p> <p>・自転車交通安全教室 参加者 H25:1,950人 H26:1,900人 H27:1,980人</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
平和祈念事業の実施	平和と人権の尊重を基本に，戦争の記憶を風化させることがないように，平和に関する意識を啓発するために各種平和事業を実施する。	推進	文化振興課
<p>実施状況 ・折鶴プロジェクト H25:6,174羽 H26:1,800羽 H27:47,518羽</p> <p>・原爆資料展 参加者 H25:740人 H26:1,594人 H27:1,600人</p> <p>・映画上映 参加者 H25:550人 H26:551人 H27:760人</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
消費者講座の実施	市民がより安全で安心できる消費生活を営むことを目標に，消費生活に関する様々な知識を習得することを目的とした消費者啓発講座を実施する。	推進	文化振興課
<p>実施状況 ・消費者講座 参加者 H25:125人 H26:284人 H27:122人</p> <p>自己評価 <input type="checkbox"/>できている <input checked="" type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
男女共同参画啓発事業の実施	男女共同参画推進プランに基づき，講座・講演会を実施する。	推進	男女共同参画推進課
<p>実施状況 ・男女共同参画啓発講座・講演会 参加者 H25:789人 H26:836人 H27:543人</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
子育てに関する学習事業の推進	子ども家庭支援センターすこやかを拠点として，子育てに関する内容を中心とした講座学習事業「エンゼル大学」を実施する。	推進	子ども政策課

<p>実施状況 ・エンゼル大学 参加者 H25:316人 H26:296人 H27:244人</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
地域における福祉活動の推進	住民相互の助け合いによる生活支援（住民参加型サービス）の推進や、福祉に関わる講演会を実施する。⇒住民参加による生活支援（住民参加型事業）の推進や地域福祉に関する講演を実施する。【(公財)調布ゆうあい福祉公社】	推進	高齢者支援室 高齢福祉担当
<p>実施状況 ・有償在宅福祉サービス（ホームヘルプサービス・食事サービス）事業</p> <p>利用会員数 H25:407人 H26:377人 H27:395人</p> <p>協力会員数 H25:319人 H26:315人 H27:307人</p> <p>・生活支援コーディネート事業「ちょこっとさん」※30分程度で出来るちょっとしたお手伝い</p> <p>利用件数 H25:156件 H26:109件 H27:95件</p> <p>登録ボランティア H25:85人 H26:83人 H27:94人</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
障害者地域活動支援センター事業の推進（再掲）	障害者を対象に料理，マナー，健康，金銭管理の講習会等，様々な学習の機会を提供するとともに，地域住民との交流活動，障害に対する理解促進のための普及啓発を図る。	推進	障害福祉課
<p>実施状況 ※前出参照（9ページ：基本施策1－2生涯を通じて学びやすい環境づくりの推進「障害者地域活動支援センター事業の推進」に掲載）</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
環境情報の提供と環境学習事業の推進	より多くの市民の地球温暖化対策等に対する関心を喚起し，地球環境の保全を促進するため，環境学習の機会及び学習内容を充実する。「都立神代植物公園植物多様性センター」，「クリーンプラザふじみ」における環境学習機能について，多摩川自然情報館との連携を強化する。	拡充	環境政策課

<p>実施状況 ・多摩川自然情報館 入館者数 H25:9,024人 H26:10,848人 H27:9,821人</p> <p>・環境学習推進事業 参加者数 H25:864人 H26:1,071人 H27:821人 (合計 H25:9,888人 H26:11,919人 H27:10,624人)</p> <p>※環境学習推進事業は、調布市環境センター、調布こどもエコクラブ、エコクッキング等が該当</p> <p>・環境学習支援事業(人材派遣) H25:3回 H26:2回 H27:2回</p> <p>自己評価 <input type="checkbox"/>できている <input checked="" type="checkbox"/>どちらかといえはできている <input type="checkbox"/>どちらかといえはできていない <input type="checkbox"/>できていない</p> <p>⇒自己評価の理由：調布市基本計画の施策26-1地球環境保全意識の啓発におけるまちづくり指標「環境学習事業及び多摩川自然情報館で学習した延べ人数」については、平成25年度に設定した基準値9,888人を上回っているため。(平成30年度目標値は、11,000人であるため、目標値に到達するよう、事業を推進していく。)</p>			
学校における食育の推進	小・中学校において、給食だより、試食会、食育講演会を通じて食に対する理解を深め、学校給食を生きた教材として活用し、食に関する基本的知識の指導を行う。	推進	学務課
<p>実施状況 ・食育講演会等 参加者 H25:97人 H26:88人 H27:未実施</p> <p>・親子料理教室 参加者 H25:114人 H26:78人 H27:77人</p> <p>・地場野菜給食使用学校 H25:26校 H26:26校 H27:28校</p> <p>※食育講演会については、平成28年度より、健康推進課・保育課・学務課合同で食育講演会を実施しており、平成27年度は事業統合に向けた検討・調整のため実施を見送った。</p> <p>また、関連して、平成28年度は試行取組として、地元農家と、栄養士・調理員の有志が農業まつりに出店し、地場野菜を活用した給食メニューの紹介や、食育ゲーム、地場野菜を活用したスープ販売の試食を行った。地場野菜を積極的に活用している学校給食の状況を多くの市民に周知でき、連携した取組として主催者からも評価を得た。</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえはできている <input type="checkbox"/>どちらかといえはできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
郷土の歴史・文化を核とした展示・普及事業の推進	郷土の歴史や文化に関する資料を展示し、講演会・見学会等の実施により、地域の歴史や伝統文化に触れる機会を市民や子どもたちに提供する。	推進	郷土博物館
<p>実施状況 ・展示・講演会・見学会等 参加者 H25:9,470人 H26:8,943人 H27:13,686人</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえはできている <input type="checkbox"/>どちらかといえはできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
国登録文化財真木家住宅の保存と活用	建物・庭園の保存と将来の公開のために必要な取組を行う。	推進	郷土博物館
<p>実施状況 ※日本館定期清掃、庭園の除草剪定を継続的に実施。平成27年度は、今後の活用方針等をまとめた保存活用計画(案)の作成及び真木家の顕彰作業を行った。</p> <p>自己評価 <input type="checkbox"/>できている <input checked="" type="checkbox"/>どちらかといえはできている <input type="checkbox"/>どちらかといえはできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			

武者小路実篤を核とした特色ある事業の展開	武者小路実篤の生涯と「白樺」、「新しき村」、「仙川の家」に関連する文学・美術作品等の資料収集を行うとともに、収蔵品の展示を実施する。	推進	実篤記念館
<i>実施状況</i> ・展示・講演会・講座 参加者 H25:9,820人 H26:12,427人 H27:11,600人 <i>自己評価</i> <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/> できていない			

■「『調布市生涯学習振興プラン』推進のための方策について(提言)」(平成26年9月発行)に関する提言項目・内容の実施状況

※第11期生涯学習推進協議会がプランを推進するための具体的な内容を提出した。

提言項目	内容
単位制度や認定制度の検討	民間などが実施する学びに関し、可能であれば市が認定のしくみづくりを検討する
<i>実施状況</i> ○学習する場はその広がりが出てきている状況が見られるなど、今後、しくみなど検討していく。簡便なものとして修了証やスタンプカードの導入などについて、関連団体等と打ち合わせをしていく。 (生涯学習交流推進課) <i>自己評価</i> <input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/> できていない	
活動場所の環境整備	活動場所の環境整備として、商店会、スーパーマーケットに協力を仰ぐほか、早朝利用などの施設活用の検討
<i>実施状況</i> ○健康づくり事業では、飲食店でのカラオケ、麻雀店での麻雀教室、銭湯・カットサロンでの将棋が行われ、民間協力による施設利用が進んでいる。(高齢者支援室) <i>自己評価</i> <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/> できていない ○CAFÉ店での音楽事業が行われ、地域福祉センター、小学校、教会、大学などを使ってのアウトリーチ事業(演奏、寄席)も展開している。(文化・コミュニティ振興財団) <i>自己評価</i> <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/> できていない	

(2) 振り返りと提案

ア 経過について

(ア) うまく進展している点

- ① 各課の主な取組は、多様な継続した学びの機会が提供できていることを評価します。
例えば、せんがわ劇場では事業が定着し、鑑賞の他、市民参加型の集客が進んでいるほか、産業振興課が毎年のように飲食店や商店で店主が講師となる「まちゼミ」を実施しています。

- ② 産業振興課による雇用・就労に向けた支援の充実について、金融機関やハローワークなどの関係各所との連携について評価します。

(イ) 改良すべき点

- ① 高齢者に重点を置いた活動内容は充実していますが、これにとどまらず、働き盛りの人たちや子育て中の若い世代を対象とした学習のための活動場所や取組の充実を期待します。
- ② 生涯学習の視点から、各種のスキルや技能の向上に資する取組の充実を期待します。
「雇用・就労に向けた支援」（産業振興課）取組について、当該課は生涯学習交流推進課と連携をしてコーディネート等を行うことを期待します。
- ③ 活動場所の環境整備として、公共施設だけでなく、民間施設などの場所でも実施できるような講座開催などを期待します。

イ 今後の展開のための提案

- ① 生涯学習振興のための指標値がプラン策定時を若干下回っており、指標値向上のため生涯学習としての学びの推進を一層推進することが望ましい。
- ② 生涯学習における学習意欲の向上策や、生涯学習のロールモデルの提示を積極的に実施することが望ましい。前者については、例えば、生涯学習に参加した人へ認定証や修了証を発行したり履修の単位を与えたりするなどの制度化によって実現が可能です。後者は、例えば、「ものしり市民先生（草花，虫，魚，動物等）」を市報で公募し、応募者から適切な方に先生として講座を担当してもらうことで実現します。自然あふれる調布市らしい生涯学習として事例となるだけでなく、学習したことを活用するという生涯学習のロールモデルの提示となります。

3 基本目標3についての考察

基本目標3 団体での学習活動が活発となり、学びを継続できる ＜団体の学習活動＞

【基本施策】

3-1 団体の自主的な活動への支援

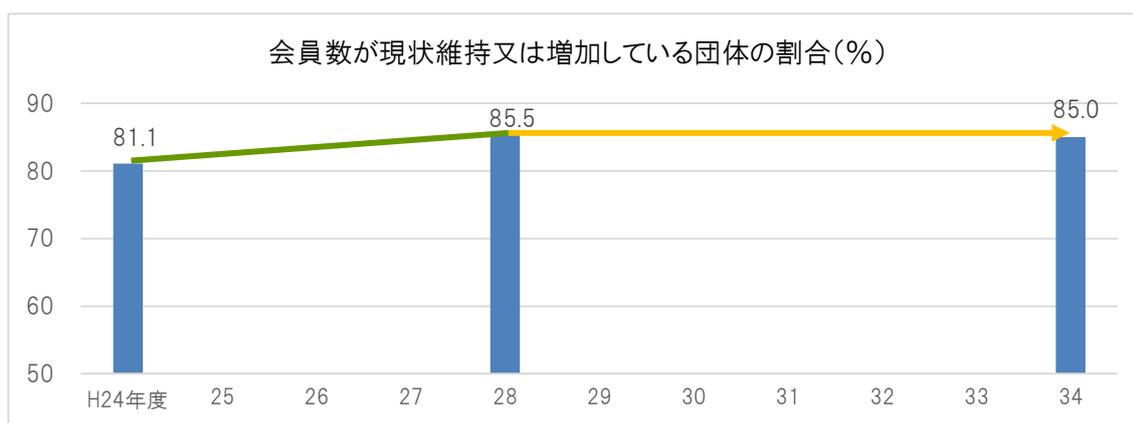
市民の学習機会を提供するとともに、学習活動を継続していく礎となる生涯学習に関連する団体・グループの自主的な学習活動や、団体の活動内容充実のための支援を行います。

3-2 活動場所の確保及び提供

市民が学習活動を行うことができる場所の確保を支援するため、既存施設の適切な維持整備や、市内にある学習関連施設の有効活用を図るとともに、学校施設の開放やスポーツ施設などの提供に努めます。

■生涯学習振興のための指標

指標	プラン策定時	現状値	目標値
会員数が現状維持又は増加している団体の割合(登録サークルへのアンケート調査から)	81.1% (平成24年度)	85.5% (平成28年度)	85% (平成34年度)



指標の動向は、プラン策定時は81.1%であり、平成28年度は、サークル情報更新時のアンケートの数値を採用しているが、85.5%となっており、目標値を達成している。

(1) 所管課による実施状況と自己評価

■ 主な取組と方針(プラン策定時の各課の生涯学習に関する取組と方針)

※方針欄の「推進」とは、前へ推し進めて行われることの意、「拡充」とは、広げて充実させて実施することの意。

※自己評価とは、所管課が主な取組の方針に対する3年間の実施状況を4段階で自ら評価したもの。

【基本施策】3-1 団体の自主的な活動への支援

主な取組	概要	方針	所管課
市民文化団体の支援	市民文化活動団体の集合体である調布市文化協会の活動を支援し、広く地域の文化・芸術の育成に貢献するとともに市民の自主的な文化活動の創造を図る。	推進	文化振興課
<p><i>実施状況</i> ・実技講座・文化講座 参加者 H25:10回/368人 H26:10回/371人 H27:10回/364人</p> <p><i>自己評価</i> <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
文化活動の支援	公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団が実施する市民参加型の独自、共催事業(調布映画祭, 市民文化祭, 調布よさこいなど)を支援する。	推進	文化振興課
<p><i>実施状況</i> ・調布音楽祭 参加者 H25: 4,422人 H26: 6,841人 H27: 6,149人</p> <p>・調布よさこい 参加者 H25:33,000人 H26:43,000人 H27:39,000人</p> <p>・市民文化祭 参加者 H25:35,960人 H26:34,595人 H27:37,490人</p> <p>・調布映画祭 参加者 H25: 9,339人 H26:10,085人 H27: 7,990人</p> <p><i>自己評価</i> <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
せんがわ劇場舞台芸術活動支援・育成事業の推進	せんがわ劇場演劇コンクールの開催により公演の機会を提供し、地域との結びつきを育みながら演劇活動団体を支援する。	推進	文化振興課(せんがわ劇場)
<p><i>実施状況</i> ・演劇コンクール, 受賞団体公演 参加者 H25:1,341人 H26:1,087人 H27:943人</p> <p>・ピアノオーディション 参加者 H25:163人+公開人数 H26:271人 H27:249人</p> <p>・新進芸術家育成公演 参加者 H25:1,037人 H26・27は実施せず</p> <p><i>自己評価</i> <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
みんなの広場の運営	みんなの広場において、生涯学習活動の会議や作業に使用する場と展示発表に使用する壁面を貸し出し、団体活動を支援する。	推進	生涯学習交流推進課

<p>実施状況 ・テーブル利用団体・人数 H25:3,521/15,091人 H26:4,274/17,948人 H27:3,091/15,679人 ※平成26年11月からみんなの広場レイアウト変更によりテーブル数を増設し、個人学習利用への貸出を開始した。平成27年度は、3,155人の個人利用があった。</p> <p>・壁面展示利用団体・日数 H25:41/186日 H26:36/230日 H27:37/229日</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
市民活動支援センターの運営	ボランティアやNPO等、自主的な社会貢献活動を行っている個人や団体を支援し、相互交流、連携の拠点施設である市民活動支援センターを運営し、行政とNPO等との協働のしくみづくりを進める。	推進	協働推進課
<p>実施状況 ・市民活動支援センター運営委員会の開催 H25:11回 H26:10回 H27:11回</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
地区協議会の設立と支援	地域コミュニティの活性化を図り、地域の連帯感を高めるとともに、地域の課題を地域全体で考え、解決するため、地域住民が自主的・主体的に運営する組織である地区協議会に対し、必要な運営支援を行う。	拡充	協働推進課
<p>実施状況 ・地区協議会への支援 H25:14箇所 H26:15箇所 H27:15箇所</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p> <p>⇒自己評価の理由:更なる活動への市民の理解や新たな参加者を得られるよう、地区協議会の認知度向上や、地域活動のきっかけづくりにつながる広報や交流事業等に取り組んだため。</p>			
地域福祉活動団体への支援	市内で高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉等に関する民間の非営利団体の新たな取組や、新規活動団体の立上げに対し、助成金支援、広報支援、情報提供及び団体の交流のきっかけづくりを行う。【(社福)調布市社会福祉協議会】	推進	福祉総務課
<p>実施状況 ・地域活動団体助成 H25:4団体 H26:5団体 H27:4団体</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
老人クラブ育成	高齢者の生活を豊かなものにするため、自主的に活動している各単位老人クラブ及び調布市老人クラブ連合会に運営費を補助することにより、活動を支援する。	推進	高齢者支援室 高齢福祉担当
<p>実施状況 ・老人クラブ及び老人クラブ連合会への補助金交付の実施</p> <p>単位クラブ数・会員数 H25:37クラブ/2,132人 H26:36クラブ/2,083人 H27:35クラブ/2,022人</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
社会教育学習グループのサポート	市民の自主的なグループ学習を支援し、公開講座の実施などにより、学習した成果を地域社会に還元し、活動の支援を推進する。	推進	社会教育課

実施状況	・学習グループサポート	H25:9 団体	H26:9 団体	H27:9 団体
自己評価	<input type="checkbox"/> できている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえばできている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/> できていない			

【基本施策】 3-2 活動場所の確保及び提供

主な取組	概要	方針	所管課
文化会館たづくりの施設整備	文化会館たづくりは、芸術文化、コミュニティ活動、生涯学習の拠点施設として活動の場を提供するとともに安全に利用できるよう、適切な維持管理を行うとともに老朽化した設備改修等を行う。	推進	文化振興課
実施状況 <ul style="list-style-type: none"> ・H25:空調設備ほか 修繕 125 件 工事等 4 件 ・H26:空調設備ほか 修繕 127 件 工事等 5 件 ・H27:自動火災報知設備ほか 修繕 124 件 工事等 19 件 自己評価 <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/> できていない			
グリーンホールの施設整備	グリーンホールは芸術文化の振興を図る拠点として活動の場を提供するとともに安全に利用できるよう、適切な維持管理を行うとともに老朽化した設備改修等を行う。	推進	文化振興課
実施状況 <ul style="list-style-type: none"> ・H25:舞台機構設備ほか 修繕 50 件 工事等 2 件 ・H26:舞台機構設備ほか 修繕 60 件 工事等 4 件 ・H27:舞台照明負荷設備ほか 修繕 61 件 工事等 7 件 自己評価 <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/> できていない			
せんがわ劇場の施設整備	せんがわ劇場は、舞台芸術の拠点施設として活動の場を提供するとともに、利用者が安全で快適に施設を利用できるよう適切で計画的な維持整備等を行う。	推進	文化振興課(せんがわ劇場)
実施状況 ※利用者が安全で快適に施設を利用できるよう、ホール施設を中心とした適切な修繕を行った。 自己評価 <input type="checkbox"/> できている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえばできている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/> できていない			
コミュニティ施設の整備	コミュニティ活動の拠点については、民間施設の活用も視野に入れながら市域全体のバランスを踏まえた配置の検討をする。適切な維持管理を行うとともに老朽化した設備改修等を行う。⇒コミュニティ活動の拠点については、市域全体のバランスを踏まえた整備を進めるとともに既存施設の適切な維持管理と老朽化した設備改修等を行う。	推進	協働推進課

<p>実施状況 ・地域福祉センター施設整備</p> <p>H25:金子地域福祉センター屋上防水及び風除室・土間改修工事ほか3件</p> <p>H26:金子地域福祉センター電気設備等改修工事設計委託</p> <p>H27:調布ヶ丘地域福祉センタートイレ改修ほか工事3件</p> <p>・ふれあいの家施設整備</p> <p>H25:国領ふれあいの家空調設備ほか更新工事</p> <p>H26:上ノ原ふれあいの家新築工事ほか1件</p> <p>H27:東部ふれあいの家外階段床補修工事ほか1件</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
スポーツ施設の整備	市民が快適かつ安全にスポーツ施設を利用できるよう、既存施設の維持整備等を計画的に進める。	推進	スポーツ振興課
<p>実施状況 ・施設の修繕及び工事件数</p> <p>H25:修繕14件, 多摩川テニスコート整備ほか工事 他11件</p> <p>H26:修繕13件, 緑ヶ丘テニスコート人工芝ほか改修工事 他11件</p> <p>H27:修繕14件, 市民プール甲羅干しほか改修工事 他13件</p> <p>※【参考】スポーツ施設利用者数合計 H25:919,010人 H26:947,281人 H27:1,018,661人</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
総合福祉センターの整備	高齢者団体, 障害者団体, ボランティア団体などの利用者が安全に利用することができるよう, 総合福祉センター施設の維持整備等を計画的に進める。	推進	福祉総務課
<p>実施状況 ※平成27年度から平成28年度にかけて, 総合福祉センター空調設備等改修工事を行った。</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
学校施設の開放による市民のスポーツ活動支援	学校施設を開放することにより, 市民のレクリエーション活動の振興, 普及を進めながら, 地域の連携や心身の健康の増進を図る。	推進	社会教育課
<p>実施状況 ※市立学校20校において, 一般開放(3校)及び総合開放(17校)を行っている。</p> <p>・一般開放 使用人数 H25:13,835人 H26:14,262人 H27:11,523人</p> <p>・総合開放 使用人数 H25:179,959人 H26:187,207人 H27:185,852人</p> <p>自己評価 <input type="checkbox"/>できている <input checked="" type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
公民館の管理・運営及び施設整備	市民が安全で快適に利用できるよう施設の維持整備等を計画的に進める。	推進	各公民館

<p>実施状況 ※市の計画に基づき計画的な整備を行うほか修繕を行うなど利用者が快適な利用が出来るよう努めた。平成27年度に実施した各公民館の施設整備。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部公民館 電気設備の改修の際に照明をLED化，空調の循環を行う器具を取り付けた ・西部公民館 外階段のノンスリップ工事をを行い利用者の安全を図った ・北部公民館 玄関の風除室の改修は，雨天時に来館しやすくなり，一部のトイレを洋式化した <p>自己評価 <input type="checkbox"/>できている <input checked="" type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
図書館分館の整備	調布市公共建築物維持保全計画に基づき，施設の維持整備等を計画的に進める。	推進	図書館
<p>実施状況 ※図書館分館において空調設備工事や電気設備等改修工事を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H26:国領分館 空調設備改修工事 (工期:H26.5.13~H26.7.31) ・H27:国領分館 電気設備等改修工事 (工期:H27.9.2~H28.1.20) 神代分館 電気設備等改修工事 (工期:H27.9.2~H28.1.19) 宮の下分館 電気設備等改修工事 (工期:H27.9.2~H28.1.21) <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
郷土博物館の整備	調布市公共建築物維持保全計画に基づき，施設の維持整備等を計画的に進める。	推進	郷土博物館
<p>実施状況 ・H25~H27 該当なし ※H28 に空調設備の改修工事を実施</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			

■「『調布市生涯学習振興プラン』推進のための方策について(提言)」(平成26年9月発行)に関する提言項目・内容の実施状況

※第11期生涯学習推進協議会がプランを推進するための具体的な内容を提出した

提言項目	内容
団体運営の仕組みづくり	団体の運営者同士が組織運営に関しお互いに話し合うことで，課題解消につなげる。 市も共に話し合い，団体活動の活性化につなげる
<p>実施状況</p> <p>○サークル体験事業では，年間を通し市民が各種サークル活動を体験する場を設け，その体験事業に参加したサークルによる発表催しも行っている。発表催しに関する事業の運営は，サークルが主体的に行うが，職員が関わることで組織運営に関する課題など，これを事業運営会議の中に反映させ，その課題解決に向け情報共有するなど団体活動支援に努めている。</p> <p>○体験する市民を受け入れている生涯学習サークル体験事業の平成27年度実績は，34サークルが参加し実施している。この事業参加を通じ，サークルからの課題等を聴取し，その解消に向けて市民交流，団体活動の活性化への支援の場とも捉え事業は展開している。</p> <p>(いずれも生涯学習交流推進課)</p>	

(2) 振り返りと提案

ア 経過について

(ア) うまく進展している点

- ① 実施取組についての情報の把握や共有を行っている点を評価します。例えば、団体の活動状況は年1回調査されていて、生涯学習交流推進課で発行している「サークルガイドブック」や市民活動支援センターで発行している「市民活動団体リスト」も常にアップデートされています。また、サークル体験事業に市の職員が関わることで課題等の聴取ができたり、課題解決に向けた情報共有が行われたりしています。
- ② 生涯学習の活動支援が積極的に行われていることを評価します。例えば、「みんなの広場」は、気軽に使える多様な学習の場として、また、市民活動支援センターは、社会貢献活動団体などの活動支援を行うなど、相談窓口も充実しています。

(イ) 改良すべき点

- ① 個人学習の多様化の広がりに対応することを期待します。例えば、生涯学習の相談窓口の周知を積極的に行い、また、団体やグループ学習への参加を促すメッセージをより発信していく工夫があります。
- ② 団体で学習する場の一層の確保、発表や交流を持てるような場について検討することを期待します。

イ 今後の展開のための提案

- ① 生涯学習振興のための指標の数値について、現状は目標を達成していますが、人口減少社会において、実際には老人クラブの会員数や自治会数は減少傾向にあるため、将来に向けて積極的な団体支援が望ましい。
- ② 団体数だけでなく、団体内での組織代謝について取り組むことが望ましい。例えば、団体内における後継者の育成や、新会員の獲得と活動場所の確保について、情報提供や勉強会実施を通じた支援を行うなどです。
- ③ 団体間の交流を推進する、例えば、同分野のサークル同士のイベントの共同実施や、団体間のネットワークを活性化することが望ましい。団体内の活動の活性化によって、それぞれの団体が抱える課題の解決にもつながります。
- ④ 地区協議会の設立と支援に関わる協働推進課と生涯学習交流推進課の連携は、小学校区単位での地域の学び（勉強）の支援もできるため、協力関係の構築が望ましい。

4 基本目標4についての考察

基本目標4 学んだ成果を仲間づくりや地域での活動に生かすことができる ＜学習成果の活用＞

【基本施策】

4-1 学びを通じた交流・仲間づくりの促進

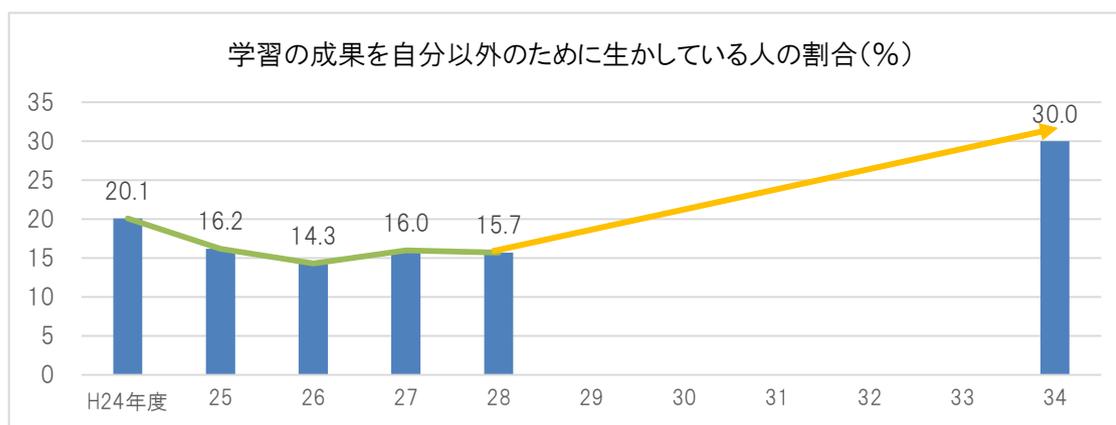
市民の学習意欲の向上や学習を通じた交流を促進するため、学習活動の様々な成果に関する発表機会の充実を図るとともに、子どもから高齢者まで多様な世代の学習活動を通じた交流、団体間の交流、姉妹都市交流をはじめとする多様な地域間交流を支援します。

4-2 まちづくりへとつながる学びの成果を生かす機会の推進

市民の学習成果がまちづくりに生かされるように、様々な市民が主体となるまちづくり活動を支援し、地域活動における学習の成果をまちづくりにつなげます。その際、地域の大学との連携や、学習活動の様々な場面で人や場をつなぐコーディネート機能の強化を図ります。

生涯学習振興のための指標

指標	プラン策定時	現状値	目標値
学習の成果を自分以外のために生かしている人の割合（市民意識調査）	20.1% （平成24年度）	15.7% （平成28年度）	30% （平成34年度）



指標の動向は、プラン策定時は20.1%であり、以降は、伸びていない。

(1) 所管課による実施状況と自己評価

■ 主な取組と方針(プラン策定時の各課の生涯学習に関する取組と方針)

※方針欄の「推進」とは、前へ推し進めて行われることの意、「拡充」とは、広げて充実させて実施することの意。

※自己評価とは、所管課が主な取組の方針に対する3年間の実施状況を4段階で自ら評価したもの。

【基本施策】4-1 学びを通じた交流・仲間づくりの促進

主な取組	概要	方針	所管課
文化活動の支援(再掲)	公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団で実施する市民参加型の独自、共催事業(調布映画祭, 市民文化祭, 調布よさこいなど)を支援する。	推進	文化振興課
<p>実施状況 ※前出参照(23ページ:基本施策3-1団体の自主的な活動への支援「文化活動の支援」に掲載)</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
木島平村交流事業	姉妹都市・木島平村の文化や豊かな自然を味わうことや村民と交流を行うことにより, 姉妹都市交流を深める。	推進	文化振興課
<p>実施状況 ・木島平村との交流 参加者 H25:1,300人 H26:1,431人 H27:1,386人</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
せんがわ劇場市民サポーター事業の推進	様々な形でせんがわ劇場の運営を支える活動を行うとともに, 参加者同士の文化交流を図るボランティアスタッフ, せんがわ劇場市民サポーターを育成する。	拡充	文化振興課(せんがわ劇場)
<p>実施状況 ・市民サポーター活動 H25:登録70人 H26:527人 H27:398人</p> <p>・各種イベント実行委員による事業推進 H25:12 H26:11 H27:8</p> <p>自己評価 <input type="checkbox"/>できている <input checked="" type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p> <p>⇒自己評価の理由:せんがわ劇場の運営を支える活動として, せんがわ劇場の事業に還元はできているが, 固定メンバーの活動に限定されてしまっているため, 新規メンバーを増やすよう努めているため。</p>			
地区協議会の設立と支援(再掲)	地域コミュニティの活性化を図り, 地域の連帯感を高めるとともに, 地域の課題を地域全体で考え, 解決するため, 地域住民が自主的・主体的に運営する組織である地区協議会に対し, 必要な運営支援を行う。	拡充	協働推進課
<p>実施状況 ※前出参照(24ページ:基本施策3-1団体の自主的な活動への支援「地区協議会の設立と支援」に掲載)</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			

高校生フィルムコンテストの実施	「映画のまち調布」の取組の一環として、将来の映画産業で活躍する人材の育成を目的に、高校生が制作した映画のコンテストを実施する。また、映画関連企業による撮影指導（撮影講習会等）も実施する。	推進	産業振興課
<i>実施状況</i> ・高校生フィルムコンテスト H25:12 作品 H26:17 作品 H27:17 作品 ・映画撮影等技術講習会 参加者 H25:53 人 H26:57 人 H27:40 人 <i>自己評価</i> <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/> できていない			
乳幼児交流事業の推進	子ども家庭支援センターすこやかを拠点として、親子遊びと保護者の情報交換、育児相談、仲間づくりの機会・場所を提供する。	推進	子ども政策課
<i>実施状況</i> ・乳幼児交流事業（コロコロパンダ）参加者 H25:6,214 人 H26:6,419 人 H27:5,392 人 ・幼児交流事業（にこにこパンダ）参加者 H25: 710 人 H26: 719 人 H27: 666 人 ・幼児交流事業（すくすくパンダ）参加者 H25:3,441 人 H26:3,532 人 H27:3,500 人 ・幼児交流事業（パパひろば）参加者 H25: 369 人 H26: 423 人 H27: 436 人 <i>自己評価</i> <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/> できていない			
小地域交流事業	地域のなかで一人ひとりがお互いを支え合い、助け合って健康で安心した生活が送れるような「集いの場」づくりや、地域特性をいかした世代間交流事業を実施する。【(社福)調布市社会福祉協議会】	推進	福祉総務課
<i>実施状況</i> ・活動場所 H25:13 箇所 H26:13 箇所 H27:13 箇所 <i>自己評価</i> <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/> できていない			
ひだまりサロン事業	地域のなかで一人ひとりが孤立することなく、お互いに支え合い助け合って、健康で安心した生活が送るための憩いの場。自宅や地域福祉センター、農園などで活動を展開している。【(社福)調布市社会福祉協議会】	推進	福祉総務課
<i>実施状況</i> ※ひだまりサロンの立ち上げ支援、相談等を実施。 ・ひだまりサロン事業 団体数 H25:62 H26:73 H27:91 <i>自己評価</i> <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/> できていない			
高齢者ふれあい給食の実施	70歳以上のひとりぐらしの高齢者等が児童と一緒に学校給食を会食し、趣味活動等を通じて孤独感の解消と、社会的交流を図る。【(社福)調布市社会福祉協議会】	推進	高齢者支援室 高齢福祉担当
<i>実施状況</i> ・ふれあい給食 参加者 H25:4,139 人 H26:3,970 人 H27:3,833 人 <i>自己評価</i> <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/> できていない			

市立障害者施設を利用した地域交流	希望の家，なごみ，まなびや，ちょうふだぞう，こころの健康支援センター等で，地域住民への施設の貸出，施設行事，地域イベントへの参加等を通じて，地域住民との交流及び障害者施設への理解促進を積極的に図る。	推進	障害福祉課
実施状況 ・施設の貸出 H25 集計不可 H26 集計不可 H27:653 回 ※その他，施設の行事で施設開放や地域イベントへの参加あり 自己評価 <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/> できていない			
環境情報の提供と環境学習事業の推進	調布市の環境の保全等を，市民・事業者・行政との協働により推進する会である「ちょうふ環境市民会議」や市内で環境保全に取り組む団体と連携し，環境に関する知識を持ち，率先して行動に移せる人材を育成する。	推進	環境政策課
実施状況 ・調布水辺の楽校 参加者 H25:182 人 H26:319 人 H27:175 人 ・調布こどもエコクラブ（会員制） 参加者 H25:162 人 H26:277 人 H27:204 人 ・雑木林ボランティア講座（会員制） 参加者 H25: 39 人 H26: 72 人 H27: 65 人 ・ちょうふ環境市民会議運営事業 参加者 H25:282 人 H26:183 人 H27:158 人 ・都立農業高校神代農場活用事業 参加者 H25: 69 人 H26: 68 人 H27: 63 人 自己評価 <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/> できていない			
地域文化祭の実施	公民館の施設を利用している団体の学習成果の発表の場を通じて，様々な学習内容を多くの人たちに広げる。また，団体の親睦と交流を図る。	推進	公民館
実施状況 ・地域文化祭（3 公民館） 参加者 H25:10,865 人 H26:9,853 人 H27:10,798 人 自己評価 <input type="checkbox"/> できている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえばできている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/> できていない			

【基本施策】 4-2 まちづくりへとつながる学びの成果を生かす機会の推進

主な取組	概要	方針	所管課
せんがわ劇場各種実行委員会による事業の実施	市民参加型の事業において市民と行政が協働する実行委員会を組織し，せんがわ劇場のあるまちづくりへとつながる事業展開を図る。	推進	文化振興課(せんがわ劇場)
実施状況 ※イベント実行委員会が，市民参加演劇公演，せんがわアター 121，JAZZ ART せんがわ等を実施 自己評価 <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできている <input type="checkbox"/> どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/> できていない			
シニア世代の学習活動及びまちづくりへの参加の促進（再掲）	生涯学習・市民活動団体や市民と協働して，生涯学習サークル体験，生涯学習体験発表会，地域デビュー歓迎会などを実施する。	推進	生涯学習交流推進課

<p>実施状況 ※前出参照（6ページ：基本施策1-1学びにつながる多様なきっかけづくりの推進「シニア世代の学習活動及びまちづくりへの参加の促進」に掲載）</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
<p>コーディネーター情報の共有</p>	<p>生涯学習や市民活動の成果を、まちづくりに生かすため、コーディネーター連絡会において個人やコーディネーター機関のコーディネーター情報を共有するとともに各機関の連携を図る。</p>	<p>推進</p>	<p>生涯学習交流推進課</p>
<p>実施状況 ※平成24年度・25年度は、コーディネーター情報の共有として調査を実施した。平成27年度・28年度は、第一部は生涯学習基礎知識の共有のため講師を招き研修会を行い、第二部は情報交換会やワークショップを行った。</p> <p>H25:コーディネーター内容調査2回実施 H26:- H27:研修会及び情報交換会参加者23人</p> <p>自己評価 <input type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input checked="" type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
<p>相互友好協力協定締結大学との連携事業の実施</p>	<p>調布市が相互友好協力協定を締結している6大学の地域貢献事業などをまちづくりに生かす取組を実施する。 ⇒平成26年6月に新たにルーテル学院大学が加わり7大学となった。</p>	<p>推進</p>	<p>生涯学習交流推進課</p>
<p>実施状況 ・協定締結大学との連携事業数 H25:152 H26:178 H27:222</p> <p>自己評価 <input type="checkbox"/>できている <input checked="" type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
<p>地区協議会の設立と支援（再掲）</p>	<p>地域コミュニティの活性化を図り、地域の連帯感を高めるとともに、地域の課題を地域全体で考え、解決するため、地域住民が自主的・主体的に運営する組織である地区協議会に対し、必要な運営支援を行う。</p>	<p>拡充</p>	<p>協働推進課</p>
<p>実施状況 ※前出参照（24ページ：基本施策3-1団体の自主的な活動への支援「地区協議会の設立と支援」に掲載）</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
<p>市民活動支援センターの運営</p>	<p>市民活動支援センターは、コーディネーター機能を有しており、ボランティアやNPO等、自主的な社会貢献活動を行っている個人や団体を支援する。</p>	<p>推進</p>	<p>協働推進課</p>
<p>実施状況 ・スペース・設備の貸出利用者数・相談件数 H25:32,835人/438件 H26:32,400人/425件 H27:35,308人/397件</p> <p>・NPO入門講座 回数・参加者 H25:6回/42人 H26:6回/37人 H27:4回/24人</p> <p>・えんがわフェスタの参加者数（出演者含む）H25:102人 H26:250人 H27:250人</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			

市民企画による男女共同参画イベントの実施	公募による男女平等・共同参画の推進に取り組む団体で実行委員会を組織し、講座・講演会・ワークショップ・パネル展示等を行うイベント「男女共同参画推進フォーラムしえいくはんず」を実施する。	推進	男女共同参画推進課
<p>実施状況 ・市民企画によるイベント実施 参加者 H25:403人 H26:424人 H27:205人</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
ボランティアガイダンス	ボランティア・市民活動に初めて参加する方やその活動について知りたいという方を対象にした講座を開催する。 【(社福)調布市社会福祉協議会】	推進	福祉総務課
<p>実施状況 ・ボランティアガイダンス実施回数・参加者 H25:9回/26人 H26:13回/24人 H27:13回/30人</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
街づくり準備会・協議会活動の支援	住民発意による街づくりを推進するため、自主的な地域住民による話し合いの場を「調布市ほっとするふるさとをはぐくむ街づくり条例」に基づき認定し、活動費用の助成や専門家の派遣等の支援を行う。	推進	都市計画課
<p>実施状況 ・街づくり協議会等への勉強会等支援 H25:52回 H26:73回 H27:65回</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
学校ボランティアの派遣	教育支援コーディネーター室を活用し、市立小・中学校における学習指導補助、児童・生徒の介助、教育相談、部・課外活動支援等のボランティア活動を、学校からボランティア・協力員に依頼する。	推進	指導室
<p>実施状況 ・教育支援学生ボランティア H25:901回 H26:1,107回 H27:1,228回</p> <p>自己評価 <input type="checkbox"/>できている <input checked="" type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			

■「『調布市生涯学習振興プラン』推進のための方策について(提言)」(平成26年9月発行)に関する提言項目・内容の実施状況

※第11期生涯学習推進協議会がプランを推進するための具体的な内容を提出した。

提言項目	内容
地域活動への参加支援	市はボランティア活動、地域貢献事例を積極的にPRするなど、意欲ある人が地域活動へ参加しやすい環境をつくる
<p>実施状況</p> <p>○地域デビュー事業で実施する講座では、お役立ち探しと題して、地域でのボランティア活動などを紹介し、参加へのきっかけづくり、仲間づくりなどにつなげている。</p> <p>○さがす見つけるシステムによる情報発信、サークルガイドブック、市民活動団体リスト、人材情報ガイド</p>	

<p>ブックにより、各種の情報提供に努めている。</p> <p>○市報、ぱれっと（文化・コミュニティ財団広報紙）での生涯学習情報の掲載は、各戸配付によりその効果は非常に大きいものとなっている。</p> <p>（いずれも生涯学習交流推進課）</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>	
生涯学習経験者の活用	生涯学習経験者の中から、地域活動への希望者を発掘、育成するコーディネーションの充実
<p>実施状況</p> <p>○地域デビュー事業の講座等の参加者は、翌年以降に地域デビューを実施する側として地域デビュー推進委員へ就任してもらう流れをつくり、退任後は地域活動をしている団体への加入につなげるなど、学ぶ側から支援する側へのつながりの和も広がっている。</p> <p>○地域デビュー事業では、相談サロンと題した生涯学習相談全般としての場を設けているが、普段のサークル活動の場と同時セッティングし、学習や地域活動のきっかけづくりの支援をするなど、指導者などの活躍の場の拡大にもつなげている。</p> <p>○各種資格を持つ方には、「人文・社会」「語学」「スポーツ」等の10分野に区分し講師・指導者を紹介している人材情報ガイドブックへの登録を案内している。また、既存の登録者にはその更新時を活用し、新たな情報を入手するなど登録者との接触の機会を持ち、その経験技能の活用が広がるよう支援している。</p> <p>（いずれも生涯学習交流推進課）</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>	
各種コーディネーターのネットワーク化の推進	生涯学習まちづくり推進員が、各種コーディネーターのコーディネーター役となって、ネットワーク化を推進
	コーディネーター連絡会の活性化（定期開催、推進員の役割の明確化・活動しやすい条件の整備）
<p>実施状況</p> <p>○各種コーディネーターの連絡会の実施では、コーディネーターに必要な技能、生涯学習を取り巻く最新情報などに関し、大学教授を招いての講演会を同時開催し、それぞれが抱えている課題を共有し情報交換の場とするなど、専門家からのアドバイスを得られる場面もつくり、関係機関の連携強化に努めている。</p> <p>○市民活動支援センター、公民館とは、アウトリーチ事業の一環としての生涯学習情報の出張相談の場の提供を通じて、コーディネーター同志の交流の機会がつかれている。今後、各種コーディネーターとは個別での情報共有、意見交換の場を持つことを予定している。</p> <p>（いずれも生涯学習交流推進課）</p> <p>自己評価 <input type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input checked="" type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>	
生涯学習まちづくり推進員の研修機会の確保	コーディネーター（推進員）の研修機会を保障すること

実施状況

○コミュニティ学習支援コーディネーター養成講座，人権学習セミナー，シニア大楽（だいがく）ほか，武蔵野市，狭山市のシニア向け事業の視察などに参加することで，参加者とのつながりが広がる効果も出るなど，専門分野の能力向上に努めている。（生涯学習交流推進課）

自己評価 できている どちらかといえばできている どちらかといえばできていない できていない

（２）振り返りと提案

ア 経過について

（ア）うまく進展している点

- ① 生涯学習経験者の活用の取り組みを評価します。例えば，学習経験者を活用する機会を設けたり，サークル活動の支援を行ったり，「人材情報ガイドブック」へ登録したりしています。そのことにより，講師となり事業を実施するなどの事例もあります。
- ② 子ども達のためのシニア世代による体験型講座，例えば，ふれあい給食や調布わいわいサロン，数援隊の活動，子ども遊び博覧会におけるお手玉や折り紙などの昔遊びの継承実施などを評価します。
- ③ せんがわ劇場の活動を支えるボランティアスタッフ，市民サポーター事業が定着してきていることを評価します。

（イ）改良すべき点

- ① 地域デビュー事業※は，生涯学習を活性化するため必要な施策で，一層，市民に認知してもらうための取り組みを期待します。例えば，現状の告知方法の検証・検討を加えることです。
- ② せんがわ劇場は市民参加型事業の好例であり，「調布市にせんがわ劇場あり」と広く世の中に認知されるよう周知の工夫を期待します。
- ③ 各種事業の行政評価をもとにさらなる事業の充実を期待します。そのためには，受講者のアンケートの設問などを工夫し事業に反映させることが必要です。
- ④ せんがわ劇場や地域デビュー事業といった成功例を事業実施者で共有し，他の事業に広げることを期待します。

イ 今後の展開のための提案

- ① 「学習の成果を生かしている」と個人が自己評価できるよう，「少しの活動でも社会貢献に役立っている」ことを地域や行政が広報し，評価をすることが望ましい。また，この指標については，自己評価に個人差があると考えられることから，他の指標や実際の現場の状況などと合わせて注意深く考察していくことが必要です。
- ② コーディネーター※は，今まで以上に，講座等の受講後に団体の紹介や活動できる場の情報提供など，学んだ成果をまちづくりへ生かせるよう結びつける支援をすることが望ま

しい。

コーディネーター連絡会の見直しと、期待されている成果の実現が望ましい。具体的には、コーディネーター制度の目的や意義を再確認するとともに、実働できるコーディネーターの選定を含めた配置の検討やコーディネーター同士の交流による情報の共有・課題の整理などです。

- ③ 生涯学習経験者の活用の取り組みを定量的に評価することが望ましい。例えば、地域デビュー事業や、「人材情報ガイドブック」への学習経験者の登録によって、地域活動への参加が促されていると推察されるが、このことを実質的に示すことができるよう追跡調査などが望ましい。
- ④ スポーツ・健康づくり等の身体技能関連の学習プログラムについては、その実施場所の拡大が望ましい。具体的には、市が管理する社会教育施設以外の施設、例えば、地域貢献の一環として企業の会議室やグラウンド等の利用も検討することが望ましい。
- ⑤ 相互友好協力協定を締結している大学との関係性やまちづくりのイメージを明確にし、目的を鮮明化し、事業に当ることが望ましい。例えば、大学からの政策提言等を受け、実現のために予算を獲得するなどして、「まちづくり」に生かすことなどです。
- ⑥ 相互友好協力協定を締結している大学との事業で「学びの成果をまちづくり」に生かす取組とその成果が見えないため、具体的にどのようなことをしていくか考察することが望ましい。例えば、10年後のまちづくりが良い方向へいく、そういう環境づくりに貢献していくという明確な目的をもって、社会教育課と連携して青少年から成人層へと発展していけるような計画立案をすることなどです。

※地域デビュー事業とは、シニア層及び地域活動への参加を希望する市民を対象に、地域活動参加のきっかけづくりを支援し、市民のまちづくり活動を推進させることを目的に市民による実行委員会「地域デビュー歓迎会推進委員会」を組織し、各種講座を企画・実施している事業のこと。

※コーディネーターとは、人と人、人と情報、人と資源を適切に結びつけること（調整する）を行う人を言い、生涯学習コーディネーターをはじめ、学校支援を行う地域コーディネーター、子育て支援コーディネーター、青少年教育コーディネーター、成人の学習支援コーディネーター、高齢者支援コーディネーター、男女共同参画支援コーディネーター、文化活動支援コーディネーター、スポーツ活動支援コーディネーター、社会教育施設コーディネーター、図書館・博物館・動物園・水族館等支援コーディネーターなど、様々なコーディネーターの活躍が期待されています。

調布市では、生涯学習コーディネーターとして、生涯学習まちづくり推進員が、その役割を担っています。また、第9期生涯学習推進協議会からの提言を受け、平成24年3月に「コーディネーター連絡会」が設置されました。

5 基本目標5についての考察

基本目標5 学びの段階に応じた情報をいつでも得られ、相談ができる

<情報提供・相談機能の充実>

【基本施策】

5-1 学びに関する様々な情報提供の充実

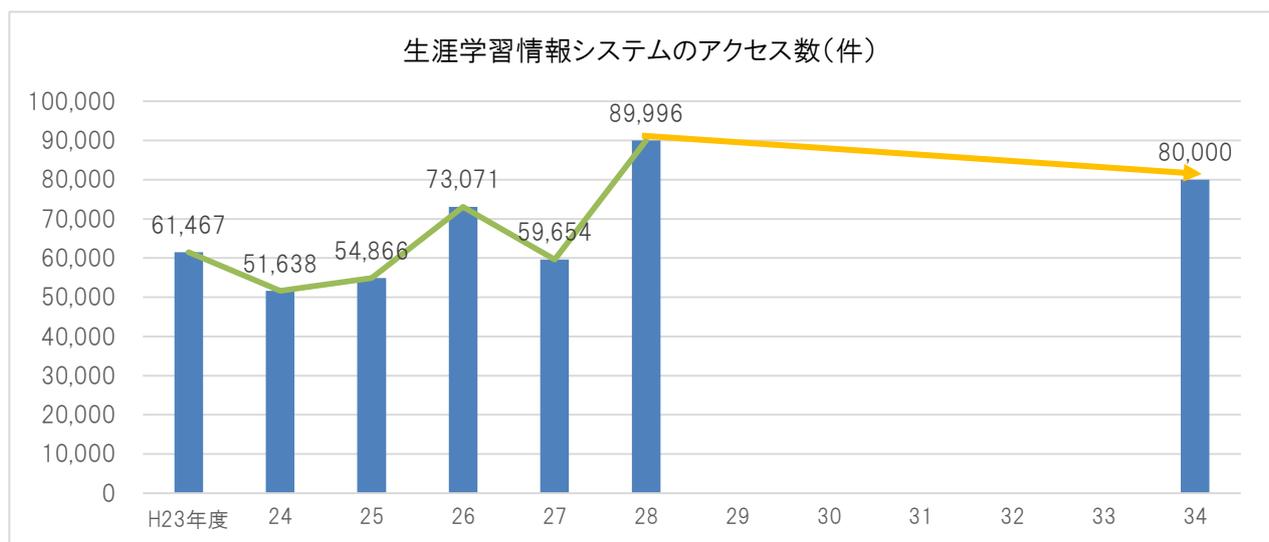
市民の生涯学習活動を支援するため、学習活動の様々な場面に応じて適切な情報を提供・発信します。また、大学や民間の教室などの情報や施設情報等、活動に当たって必要となる情報などの収集・提供を行います。

5-2 学びに関する相談機能の充実

生涯学習に関するニーズは、それぞれのライフステージや学習の段階、活動内容などに応じ多種多様なものであり、相談の内容も幅広いものです。それらの様々なニーズに応じた相談機能の整備に努めます。

■生涯学習振興のための指標

指標	プラン策定時	現状値	目標値
生涯学習情報システム のアクセス数	61,467件 (平成23年度)	89,996件 (平成28年度)	80,000件 (平成34年度)



指標の動向は、プラン策定時は61,467件であり、平成26年度及び28年度にシステムの改修作業により大きく増加した要因はあるものの、上向き傾向にある。

(1) 所管課による実施状況と自己評価

■主な取組と方針(プラン策定時の各課の生涯学習に関する取組と方針)

※方針欄の「推進」とは、前へ押し進めて行われることの意、「拡充」とは、広げて充実させて実施することの意。

※自己評価とは、所管課が主な取組の方針に対する3年間の実施状況を4段階で自ら評価したもの。

【基本施策】5-1 学びに関する様々な情報提供の充実

主な取組	概要	方針	所管課
市報等発行事務	生涯学習活動に関する記事を含め、市政情報に関する広報紙を発行する。	推進	広報課
<p><i>実施状況</i> ・市報ちょうふ定例号・特集号 全戸配布(平均119,800部発行)</p> <p><i>自己評価</i> <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
生涯学習情報システム(さがす見つかるシステム)の活用	生涯学習情報システム(さがす見つかるシステム)と市民活動支援センターの情報を一元化し、生涯学習・市民活動に関する団体情報・人材情報・各種催し等の情報を市民や団体に提供する。	推進	生涯学習交流推進課
<p><i>実施状況</i> ・トップページアクセス件数 H25:54,866件 H26:73,071件 H27:59,654件</p> <p>※平成26年度の増要因は、調布子育て応援サイト「コサイト」との情報連動によりアクセス件数が増加したことによる。平成28年度は、市民活動のさらなる活性化を図るため、現行の「さがす見つかるシステム」を再構築し、ポータルサイト化に伴う改修作業により、アクセス増となった。平成29年度からは、地域情報発信の中心的な役割を担うサイトとして「ちょうふ地域コミュニティサイト(ちょみっと)」となり、生涯学習情報は「生涯学習情報コーナー」ページで情報提供を行っていく。</p> <p><i>自己評価</i> <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
相互友好協力協定締結大学の事業紹介	調布市が相互友好協力協定を締結している6大学の地域貢献事業などを市報等に掲載し、生涯学習機会の情報を提供する。	推進	生涯学習交流推進課
<p><i>実施状況</i> ※市報ちょうふ定例号(5日号)及び市HP・さがす見つかるシステムに事業を掲載。また、チラシ・ポスターについても市内公共施設への配架など協力し、情報提供を行っている。</p> <p>※平成26年度にルーテル学院大学との協定締結が行われ、6大学から7大学となっている。</p> <p><i>自己評価</i> <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			

子育て支援に関する 情報提供の推進	子育て支援に関する制度や事業を掲載した子育て支援情報誌「元気に育て！！調布っ子」を発行（平成8年開始）し、相談者及び転入者をはじめとする市民への情報提供を行う。	拡充	子ども政策課
<p>実施状況 ・「元気に育て！！調布っ子」発行 随時配布（約10,000部発行）H25・26・27実施</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p> <p>⇒自己評価の理由：子育てに関する情報提供のひとつとして継続して発行し、より見やすくなるよう、必要に応じて標記方法の変更や掲載内容の追加を行っているため。</p>			
健康情報の提供	市民に健康情報を提供するため、健康ガイドを全戸配布するとともに、健康カレンダーや市報、市ホームページ、調布エフエム放送等を通じて周知を図る。	推進	健康推進課
<p>実施状況 ・「健康ガイド」発行 全戸配布（約120,000部発行）H25・26・27実施</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
環境情報の提供と環 境学習事業の推進	環境年次報告書や市報・ホームページ及びちようふ環境にゅ〜す等により、環境情報を積極的に提供する。	推進	環境政策課
<p>実施状況 ・未来へつなぐ調布の環境（環境年次報告書）発行（100部発行）H25・H26・H27実施</p> <p>・ちようふ環境にゅ〜す発行（各号800部発行）H25:17～20号 H26:21～24号 H27:25～28号</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
郷土博物館広報紙等 の発行	調布の文化財、郷土博物館だより、解説シート等を発行し、調布の歴史・民俗・自然や伝統文化等に関する情報を市民に提供する。	推進	郷土博物館
<p>実施状況 ・調布の文化財発行 H25:第50号 H26:第51号 H27:第52・53号</p> <p>・郷土博物館だより発行 H25:No.75 H26: No.76 H27: No.77</p> <p>・解説シートの発行 H25:No.9.14.17.21.29増刷 H26:― H27: No.2.16.28.32増刷</p> <p>・展示パンフレットの発行 H25:橘屋一家のモノ語り、ところ変わればだるまも変わる H26:ろくろからコマ H27:考古資料でたどる調布の三万年</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			

【基本施策】5-2 学びに関する相談機能の充実

主な取組	概要	方針	所管課
生涯学習に関する相談、情報提供の実施	主に市内におけるサークルの活動や各種催しなど生涯学習関連情報を収集し、市民を対象に生活実態や希望に応じた学習相談を行う。生涯学習活動に協力してもらえる指導者等の情報提供を行う。	拡充	生涯学習交流推進課

<p>実施状況 ・生涯学習情報コーナー（相談） H25:1,531件 H26:1,5171件 H27:1,451件</p> <p>自己評価 <input type="checkbox"/>できている <input checked="" type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p> <p>⇒自己評価の理由：平成27年度からアウトリーチとして出張相談を開始し、たづくり「生涯学習情報コーナー」に足を運びにくい方々へも出向いて行き、ニーズに対応した出張相談を展開しているため。</p>			
市民活動支援センターの運営	自主的な社会貢献活動を行っている個人や団体を総合的に支援し、市民活動の中間支援として、情報の収集・提供、各種相談、啓発事業、交流事業等を実施する。	推進	協働推進課
<p>実施状況 ・市民活動支援センター（相談） H25:438件 H26:425件 H27:397件</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			
子育てひろば事業の推進	子育て中の保護者、これから子育てを始める保護者を対象に子育てに関する各種相談を受けるとともに、各種健康講座やレクリエーションの実施、乳幼児サークルの支援を行う。	推進	児童青少年課
<p>実施状況 ・子育て相談事業 件数 H25: 1,736件 H26: 1,568件 H27: 1,750件</p> <p>・子育て講座、親子交流事業等 参加者 H25:96,936人 H26:99,270人 H27:98,975人</p> <p>自己評価 <input checked="" type="checkbox"/>できている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできている <input type="checkbox"/>どちらかといえばできていない <input type="checkbox"/>できていない</p>			

（２）振り返りと提案

ア 経過について

（ア）うまく進展している点

- ① 生涯学習情報システム「さがす見つかるシステム」の機能改善を評価します。当該システムはアップグレードが施され、ソフトウェアとハードウェア両面で機能向上しています。また、地域ポータル化に向けた改修も進んでいます。
- ② 子ども政策課による子育て情報提供の充実を評価します。具体的には、「元気に育て調布っ子」、調布子育て応援サイト「コサイト」による情報提供です。
- ③ 「市報ちょうふ」は、受け手側が取りに行かなくても情報が得られる紙媒体の情報源であり、全戸配布されており、十分に機能していると評価します。

（イ）改良すべき点

- ① 生涯学習の学びを始めたい人が適切に情報を得られるように、相談しやすさを含めて、一層の情報発信（広報）を期待します。
- ② 子育て支援の情報提供について、育児の孤立状況を防ぐために、利用者に寄り添う情報とその提供に心がけるよう期待します。例えば、井戸端会議的な情報、居住場所を意識した情報の提供を行うなどです。

イ 今後の展開のための提案

- ① 「情報提供・相談機能の充実」は、学習のきっかけづくりから、その継続及び成果の活用に至る生涯学習の全過程を支援するため、この基本目標5は、基本目標1から4すべてに関わる内容です。その役割を担うのは、基本目標4で述べた「コーディネーター」が重要な役割を果たして、今後も生涯学習まちづくり推進員が中心となり、推進していくことが望ましい。
- ② 情報提供の推進においては、常に利用者の声に耳を傾けた利用者目線でのシステム改善や施策の実施が望ましい。
- ③ 生涯学習関連の情報を、市の広報と協働して、マルチチャネル※で市民に届けることが望ましい。調布市からは多くの情報が発信されているが、うまく整理がなされていないと思われます。今後の利用者は、デジタルネイティブ※（世代）であり、世の中の情報化が一層進展するが、他方で、地域デビュー対象者との間でデジタルデバインド※が広がる可能性も高いです。このため、情報の受信手段を考慮したマルチチャネルで情報発信を進めることが重要です。

※マルチチャネル(multi-channel)とは、複数の情報提供手段を活用する考え方。

※デジタルネイティブ（世代）（digital native）とは、学生時代からインターネットやパソコンのある生活環境の中で育ってきた世代のこと。

※デジタルデバインド(digital divide)とは、コンピュータやインターネットなどの情報技術(Information Technology)を利用したり使いこなしたりできる人と、そうでない人の間に生じる格差。

おわりに

生涯学習とは、人が生涯のいつでも、「自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が社会において適切に評価される」（平成4年7月、生涯学習審議会答申）べきものと言われています。平成18年12月に成立した改正教育基本法第3条では、新たに「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」とされています。

平成25年3月に策定された『調布市生涯学習振興プラン』に基づいて、生涯学習推進事業が実施されて以来、4年が経過し、また、平成26年9月に第11期調布市生涯学習推進協議会が『調布市生涯学習振興プラン』推進のための方策について（提言）をまとめて以来、2年が経過しました。第12期調布市生涯学習推進協議会は、プランに示された5つの基本目標ごとに、生涯学習交流推進課によって提供された資料や報告に従って質疑応答しながらその取組を検討協議し、ここに中間報告をまとめました。

調布市の生涯学習推進事業はかなり進んだレベルにあると言えます。しかし、実際に生涯学習に取り組んだ市民の割合は多いとは言えず、各世代の様々なライフステージに合わせて、市民がより参加しやすい施策を検討する必要があります。

協議会では生涯学習支援の現状について、指標を用いて数値で評価することに難しさが伴いながらも、行政評価の相対化の意味するところを確認し、各種取組の進展につながるよう活発な意見交換をしました。生涯学習の主体である市民の目線で、調布市の特色ある施策の一つである生涯学習振興によるまちづくりの実現に向けて検討しました。

5つの基本目標のもと100近い方策がありますが、活動の成果に関して9割方は他部署の責任下であり、生涯学習交流推進課のリーダーシップ、コーディネーションが重要です。今後も様々なプログラムを提供し、検証、きめ細かいサポートをすることで、市民の一人でも多くの方々が生きがいを感じ、調布市の明るい未来につながることを期待します。

振興プランの内容では、個人が学習したことを地域に生かすという目標が、これからの努力目標だと感じます。高齢化という中で、どのように個人と地域がつながっていくか、なかなか良い策が見つかっていないように思います。「さがす見つかるシステム」の改修は期待できますが、やはりつながりは目に見えることも大切です。文化会館たづくりの「みんなの広場」のようなところがあちこちにあり、様々な世代の相談者やサークル活動等でいつもにぎわっている「ぬくもりあるまち」を目指して、今後も事業を継続・発展させていただきたいです。そのためにも活動の場は、社会教育施設などの公共施設に限らず、今後は企業等の民間施設も含めて活用し、個人の学びから団体の学びまで幅広く支援をしていくことが重要です。

文部科学省の白書（平成26年度、「生涯学習社会の実現」の項目）でも指摘されているように、「学習活動を通じた地域活動の推進、現代的・社会的な課題に対応した学習等の推進など」が、大学等の教

育機関を含め地域において取り組むことが今求められています。調布市では、様々な生涯学習のための取組があって学習機会の提供が十分に行われていますが、今後は、学習した方々が、その成果を社会に還元していくための事業企画やその推進が必要です。また、既存のサークルや団体の活動継承も大きな課題でしょう。こうした取り組みには、地域コミュニティの再活性化がポイントとなると考えられます。学びあい、そして教えあう、協働する地域コミュニティに向けて一層の取り組みを推進すべきでしょう。

中央教育審議会答申「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について～知の循環型社会の構築を目指して～」（平成20年2月）に示されたように、社会全体の教育力の向上を図る上で、大学等の高等教育機関と地域の連携は不可欠です。協議会では、佐野洋委員と宮寄武委員によってそれぞれの所属大学で行われている大学連携事業の事例が紹介され、社会貢献事業への行政支援が大学と地域を結ぶまちづくりへとつながることを委員相互で共通理解しました。

調布市の大学連携事業のさらなる展開のために、近隣26市の行政サイドへのアンケート調査として「大学との事業に関する調査」、調布市が相互友好協力協定を締結している大学サイドへの調査として「行政との連携事業に関する調査」を実施しました。これらの調査結果のうち、前者で得られた最新のデータは調布市にとってだけでなく、大学と生涯学習支援について研究する方々にとっても有益な資料となることでしょう。調布市に信頼できる良質な生涯学習が学びの喜びを呼び起こすような環境が整備されることを期待します。

調布市の生涯学習振興はネットワーク型行政によって全庁的に取り組まれています。協議会では、調布市の生涯学習・社会教育担当部課の現在の設置状況について、首長部局と教育委員会の両方に設置されていることを確認しました。また、平成7年4月から今日までの生涯学習所管部署の組織変遷を整理し、3つのポイント地点を跡づけました。まず、平成10年4月に社会教育部が生涯学習部に名称が改められ、同部署に社会教育課と生涯学習推進室が設置されました。第二に、平成13年4月に首長部局（生活文化部）と教育委員会（教育部）にそれぞれ別々に生涯学習推進担当と社会教育課が設置されました。第三に、平成19年4月に生涯学習交流推進担当が生涯学習交流推進課となり、翌年4月に、スポーツ振興課（団体担当）が教育委員会から首長部局へ移管され、所管部名も生活文化部から生活文化スポーツ部に変更されて、現在に至っています。こうした経緯をふまえ、協議会では生涯学習振興行政の在り方について、社会教育行政が培ってきたノウハウに学ぶ必要性が指摘されました。連携強化のために他部署に生涯学習支援のさらなる理解を求めていくことが重要です。全庁的な組織である生涯学習推進本部会・幹事会において、市を挙げて、調布市の生涯学習振興について共通認識を持ち、さらなる推進のための取組を実施していくことを要望します。

この協議会で議論された内容が、行政計画に反映され、より多くの市民の皆様に対して学びの場や活動の場が提供され、様々な市民活動がさらに充実することを願っています。

なお、本報告の作成に当たり、委員からの意見を吸い上げてまとめ上げていただいた生涯学習交流推進課の方々には心より感謝いたします。

資料編

1 第12期調布市生涯学習推進協議会

(1) 会議開催日程及び内容一覧

※場所「たづくり」は、文化会館たづくりのこと

回数	開催日 場 所	主な協議内容など
第1回	平成27年 7月27日 教育会館 202会議室	第1部 委嘱式 第2部 第1回生涯学習推進協議会 1 委員紹介 2 会長，副会長の選出 3 議題 (1) 報告事項 第12期調布市生涯学習推進協議会における検討協議事項について (2) 検討協議事項 相互友好協力協定締結大学連携事業に関する調査結果について
第2回	10月30日 文化会館 たづくり 601会議室	議題 1 報告事項 生涯学習振興プラン及び提言の内容紹介について 2 検討協議事項 (1) 大学連携事業の考察について（他自治体の大学連携事業の紹介） (2) 大学連携事業の事例紹介 ア 電気通信大学について（宮寄委員） イ 東京外国語大学について（佐野委員）
第3回	平成28年 1月28日 たづくり 801会議室	議題 1 検討協議事項 生涯学習行政の在り方について (1) 生涯学習行政概論（青山学院大学教育人間科学部教育学科大木助手） (2) 調布市の生涯学習所管部署の組織変遷 (3) 多摩26市の生涯学習・社会教育所管課一覧 2 報告事項 (1) 大学との事業に関する調査報告について (2) 中学生のための大学一日体験入学実施報告について 3 その他 多摩26市の指標調査について

第4回	6月30日 たづくり 研修室	議題 1 検討協議事項 平成27年度の大学連携に関する事業実績について 2 報告事項 平成28年度の生涯学習交流推進課の事業について
第5回	10月21日 たづくり 1001 学習室	議題 1 検討協議事項 直近3年間の生涯学習関連事業の実施状況について
事前会議	12月5日 たづくり 1002 学習室	検討協議内容 ・第6回協議会の議題の確認…事務局より協議会（第6回）案の資料の説明及びコーディネーター連絡会の経緯・現状・これからについて説明 ・第12期推進協議会に課されている使命の確認及びポイントの置き方 ・委員からの資料をもとに課題の整理 ・今後の協議会の方向性の整理
第6回	平成29年 1月26日 たづくり 1001 学習室	議題 1 検討協議事項 生涯学習関連事業の実施状況について 2 報告事項 中学生のための大学一日体験入学事業の結果について さがす見つかるシステムの改修状況について
勉強会	2月21日 教育会館 203 会議室	検討協議内容 ・第12期まとめ素案の意見交換
第7回	3月17日 たづくり 601 会議室	検討協議事項 ・生涯学習振興プラン振り返りのまとめ（案）について
第8回	4月17日 たづくり 801 会議室	検討協議事項 ・生涯学習振興プラン振り返りのまとめ（案）の確認について
第9回	5月15日 教育会館 202・203 会議室	検討協議事項 ・生涯学習振興プラン振り返りのまとめ（確定稿へ）の確認について

(2) 委員名簿

会 長	大森 秀子	青山学院大学 教育人間科学部教授
副会長	矢幡 秀治	公益社団法人調布市体育協会理事
委 員	小川 芳昭	公募
委 員	後藤 淳子	公募
委 員	佐野 洋	東京外国語大学学長特別補佐 大学院総合国際学研究院・教授
委 員	芹澤 充子	調布わいわいサロン副代表
委 員	高木 直	社会福祉法人調布市社会福祉協議会ボランティア・市民活動推進課長
委 員	濱松 章洋	調布市立上ノ原小学校校長
委 員	宮寄 武	国立大学法人電気通信大学社会連携センター長 情報理工学研究科機械知能システム学専攻教授
委 員	森山 朱美	元NPO法人調和SHC倶楽部前事務局長

(任期：平成27年7月1日から平成29年6月30日まで)

●事務局 調布市生活文化スポーツ部生涯学習交流推進課

部 長：八田主税（平成29年3月31日まで）、宇津木光次郎（平成29年4月1日～）

次 長：中村 弘（平成28年3月31日まで）、田口 学（平成29年3月31日まで）、
城戸雅幸（平成29年4月1日～）

課 長：中島素之（平成29年3月31日まで）、半澤清美（平成29年4月1日～）

課長補佐：神田早苗

主 任：中島 梓

2 調布市生涯学習推進協議会の答申・提言など

期別	任期	答 申 ・ 提 言 など
第1期	平成3年1月29日～ 平成5年5月31日	『生涯学習社会の実現をめざして～調布市における生涯学習の推進を図るための基本的な方策について～（答申）』 (平成5年1月発行)
第2期	平成5年6月1日～ 平成7年5月31日	計画策定への検討協議
第3期	平成7年6月1日～ 平成9年5月31日	『調布市生涯学習推進計画～生涯学習都市づくりをめざして～』 (平成9年3月発行)
第4期	平成9年6月1日～ 平成11年5月31日	計画の推進などの進行管理
第5期	平成11年6月1日～ 平成13年5月31日	『生涯学習とまちづくりをすすめるボランティア活動～「生涯学習・まちづくり・ボランティアを支援する総合センター」の設置の提言～』(平成13年3月発行)
第6期	平成13年9月1日～ 平成15年8月31日	『調布市文化・生涯学習によるまちづくり推進計画～調布文化の伝承・創造と生涯学習社会をめざして～（参加・参画から連携・協働へ）』(平成15年3月発行)
第7期	平成15年11月1日～ 平成17年10月31日	『生涯学習によるまちづくりの拠点としての公共施設の在り方について（答申）』 (平成17年8月発行)
第8期	平成18年3月1日～ 平成20年2月29日	『生涯学習によるまちづくりにおける団塊の世代の地域での活動推進施策に関する提言～地域で希望を持って生きるために～』 (平成19年10月発行)

第9期	平成20年7月24日～ 平成22年7月23日	『生涯学習の成果をまちづくりに生かすための方策に関する提言』 (平成21年12月発行)
第10期	平成22年10月1日～ 平成24年9月30日	『調布市における生涯学習振興の基本方針について（答申）』 (平成24年6月発行)
第11期	平成24年10月1日～ 平成26年9月30日	『「調布市生涯学習振興プラン」推進のための方策について（提言）』 (平成26年9月発行)

3 参考資料

- (1) 調布市の生涯学習所管部署の組織変遷
- (2) 多摩26市の生涯学習・社会教育所管課一覧
- (3) 行政との連携事業に関する調査
- (4) 大学との事業に関する調査報告書

※資料はすべて調査時点のものになります。

登 録 番 号
(刊行物番号)

2 0 1 7 - 6 1

「調布市生涯学習振興プラン」に基づく各種取組の新たな展開のために
～プラン策定から3年間の振り返り～（報告）

平成29年（2017年）6月発行

編集 調布市生涯学習推進協議会

発行 調布市生活文化スポーツ部生涯学習交流推進課

〒182-0026 東京都調布市小島町2-33-1

文化会館たづくり11階

TEL 042-441-6112

FAX 042-441-6115

e-mail:skouryu@w2.city.chofu.tokyo.jp

印刷 庁内印刷